

令和 7 年度

教 育 委 員 会 要 覧

富士吉田市教育委員会

目 次

富士吉田市民憲章	1
富士吉田市の沿革	2
富士山教育憲章	3
教育行財政	
教育委員会	6
事務局機構	9
事務局職員等の配置人員	10
教育委員会関係行政委員会	10
教育委員会教育行政基本方針	11
富士吉田市学校教育指導重点	12
教育委員会事務局分掌	13
教育財政	15
学校教育課	
市内小・中学校一覧	17
小・中学校児童・生徒数及び教職員数	17
小・中学校 学級数・児童生徒数・教職員数の推移	18
小・中学校施設状況等	19
教職員構成	20
学校医・学校歯科医・学校薬剤師一覧	21
学校要覧	22
学校給食センター	
学校給食センターの沿革	33
学校給食センターの概要	33
学校給食センターの運営について	36
生涯学習課	
基本方針・重点	37
主たる事業計画	38
所管施設	42
図 書 館	
市立図書館の沿革	46
市立図書館の概要	46
基本方針	47
令和6年度 運営状況実績	47
令和7年度 主たる事業	55

歴史文化課

基本方針	57
文化財関連刊行物	57
富士吉田市内の指定文化財（国・県・市）	59
富士吉田市内の文化財一覧（国・県・市）	60
富士吉田市史等 刊行物一覧	63

ふじさんミュージアム（富士吉田市歴史民俗博物館）

施設の概要	64
エリア内附属施設	69
御師旧外川家住宅	69
令和7年度の事業等	70
入館者数一覧表	72
博物館企画展図録等	73

富士吉田市立教育研修所

教育研修所の設置目的	74
教育研修所の事業	74
組織・機構図	78
教育相談・指導	79
教育研修所研修会一覧	80

教育委員会行政委員会委員名簿

富士吉田市学校給食運営委員会	81
富士吉田市社会教育委員	81
富士五湖文化センター・富士吉田市民会館運営委員会	82
富士吉田市スポーツ推進審議会	82
富士吉田市スポーツ推進委員	83
富士吉田市立図書館協議会	84
富士吉田市歴史民俗博物館協議会	85
富士吉田市文化財審議会	85
富士吉田市立教育研修所運営協議会	86

富士吉田市章



富士吉田市を図案化したもので中央の富士型が「富士吉田」の富士をあらわし、吉の字で円をつくり、梨地が田をあらわしています。（昭和26年5月4日制定）

〈 富士吉田市民憲章 〉（昭和43年10月1日制定）

（前文）

富士山と美しい自然にめぐまれた高原の都市、これが富士吉田市民のまちです。わたくしたちは富士山麓のきびしい自然とたたかいながら原野をひらき、織物と観光のまちを育ててきました。

このたくましい富士吉田市に生きるよろこびと誇りをもち、たがいに力をあわせてよい市民になるために、市民憲章を定めました。

1. わたくしたちは、健康で力づよいまちをつくりましょう。
2. わたくしたちは、産業を伸ばし、豊かなまちをつくりましょう。
3. わたくしたちは、教養を高め、文化のまちをつくりましょう。
4. わたくしたちは、自然を愛し、美しいまちをつくりましょう。
5. わたくしたちは、きまりを守り、平和で明るいまちをつくりましょう。

市の花・市の木（昭和45年12月11日制定）

市制施行20周年を記念し、市の花・市の木を市民から募集、この結果をもとに市の花・市の木制定委員会より決定される。

市の花 ふじざくら

昭和27年に郷土を代表する花として決定されていたが、本市を代表するにふさわしい花として制定された。

市の木 しらかば

高原都市にふさわしく、しかも明るい感じを与える木として制定された。

市の鳥 アカゲラ（平成2年11月3日制定）

緑あふれる高原のまち富士吉田市のイメージにあい、害虫を食べ森林の保護に役立つことや、富士山周辺や市街地で比較的多くみられることなどから制定された。

＜富士吉田市の沿革＞

富士吉田市は、山梨県の南東部、富士山の北麓に位置し、海拔650～900mに市街地が形成された高原都市です。

富士北麓の歴史は、遠くさかのぼればのぼるほど神話、民話伝承の世界に溶け込んでいき、それらと密接な関係を持つ富士山信仰を基盤に富士吉田市は発展を遂げてきました。

上吉田地区の北口本宮富士浅間神社と御師の家並みはその面影を伝えています。

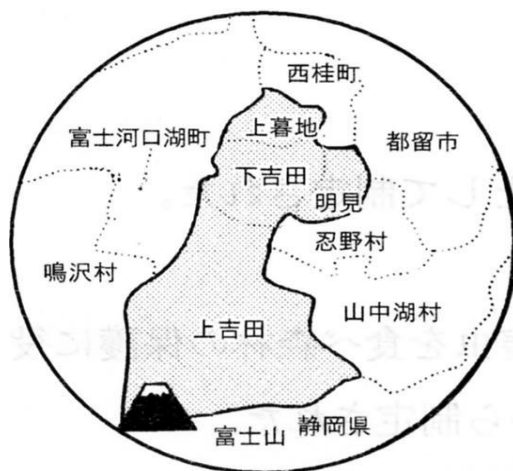
「甲斐絹」は、明治以降織物産業が近代産業として脚光を浴び、この地域の主たる産業として発展し、富士吉田市はその織物産業を軸として、政治・経済・交通などあらゆる面で富士北麓の中核都市としての役割を果たしてきました。

市の沿革は、昭和26年、富士上吉田町、下吉田町、明見町を合併して市制をスタートさせ、昭和35年には、上暮地地区を合併して現在に至っています。

令和7年6月1日現在、人口は男子22,603人、女子23,404人、計46,007人、世帯数20,946戸となっています。

日本のシンボルである富士山の麓に広がる富士吉田市は、市域の大部分が国立公園内にあり、土地利用の面では大きな制約があるとはいえ、富士山に抱かれた自然環境は、市民に限りない恩恵を与えており、大きな誇りになっています。

現在、富士吉田市は、「富士の恵みと幸せを紡いでまちを織る 活力創造都市 富士吉田」を目標に、市民と行政がそれぞれの役割と責任を果たしながら協働して、富士山を中心とした本市の自然・歴史・伝統・文化などを活かした自立的で魅力的な新しいふるさとづくりを進めていくとともに、富士北麓地域全体を視野に入れ、その中心都市としての機能・役割を強化したまちづくりを推進しております。



＜教育委員会＞の位置

下吉田 6－1－1

北緯 35度30分

東経 138度49分

行政面積 121.74 k m²

＜ 富士山教育憲章 ＞

わたくしたちは、世界に誇る富士山を朝夕まぢかに仰ぎながら生活しています。

この富士山をかがみとして、立派な人間になるために富士山教育憲章を定めました。

わたくしたちは

1. 高い理想と、揺るがぬ信念をもって生きる心を育てましょう。
2. 健やかな体と、広く温かい心を育てましょう。
3. 困難を乗り越え、たゆまず努力する心を育てましょう。
4. きまりを守り、進んで社会に尽くす心を育てましょう。
5. 富士山を愛し、世界に通ずる豊かな心を育てましょう。

(解 説)

わが国の教育は、民主的で文化的な国家を建設して、世界平和と人類の福祉に貢献しようとする決意を示した日本国憲法の問題意識にのっとり、その理想と実現を求めて行われています。

その教育理念として、「個人の尊重を重んじ、真理と正義を希求し、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成を期するとともに、伝統を継承し、新しい文化の創造」が教育基本法に明示されています。

この実践はあらゆる場所と機会に、実際生活に即して行われなければなりません。ここに、地域に根ざした教育の重要性があります。

富士北麓に生をうけ、朝な夕な富士山を仰ぎながら生活するわたくしたちは、人生の多くの規範をこの山に求め―富士山のように―と自らを律してきました。このように、富士山は、わたくしたちに数多くの教訓を示し、大きな感化を与えてきました。文中の「立派な人間」は、この富士山の示す数々の教えを学びとり、生活の指針としながら、教育の理念近づいていくことのできる人間を意味しています。あえて「富士山教育憲章」と名付けた理由もここにあります。

教育は、学校教育、社会教育を含め、生涯にわたって行われるべきであります。従って本憲章も、市民全員の教育規範となることを願っております。特に、時代を背負う児

童・生徒を育成する学校教育に、その精神の実現を期待しております。

また、市民憲章は、全市民が、健康で、明るく豊かな社会生活を送るための総合的な憲章であり、教育憲章は、市民憲章を実践することの出来る人間を育てる教育の基本的な理念と考えております。

1. 高い理念と、揺るがぬ信念をもって生きる心を育てましょう。

富士山の雄大尊厳な山容は、わたくしたちの理想を象徴しています。社会構造が複雑化し、人生の目的が類型化、小型化したといわれる現在、次代を背負う青少年に特に大きな夢をもつことが望まれます。

富士山をまじかに仰ぎ見ることの出来るわたくしたちは幸福です。その姿は、夢を追い大志を抱く生き生きとした気概をわたくしたちに与えてくれます。

また、富士山からは、何事にも屈しない不動の信念をもって、生きることの尊さを学ぶことができます。

2. 健やかな体と、広く温かい心を育てましょう。

健全な生活を支えるものは、健やかな体とそこに宿る豊かな人間性です。人を大切にし、思いやる心です。

千古不易、風雪をしのいでそびえ、いつも優しく、わたくしたちを見守ってくれる富士山や、豊かな水をたたえる五つの湖と広大な裾原をいただく自然から、わたくしたちは、逞しい体とおおらかな広く温かい心を育てることができます。

3. 困難を乗り越え、たゆまず努力する心を育てましょう。

秀麗な富士山に代表される自然も、時には猛威を振り、この地に寒冷、不毛などの試練をあたえます。これは、わたくしたちを鍛える厳しいむちにも似ています。富士山自身も、風雪、酷寒に耐え、それを乗り越えて、美しい大自然の姿をわたくしたちに楽しませながら、無言にその生き方を教えてくれます。

先人は、厳しい自然とたたかいながら、この地を切り拓き、現在の繁栄と文化を築いてきました。わたくしたちは、この富士山の姿から強靱な意志と忍耐力、勤労の精神の貴さを知り、これを受け継ぎ、生涯にわたって、郷土の創造発展に努力すること

の大切さを学ぶことができます。

4. きまりを守り、進んで社会に尽くす心を育てましょう。

自然界は、一見、無秩序のように見えますが、そこには厳然とした法則があり、それによって富士山も四季を通じて、自然のリズムに順応した調和と統一のとれた美しい姿を保っています。この富士山の姿から、わたくしたちは、社会生活を円滑に営むための「きまり」を責任をもって守り、自他の敬愛と礼節の中で、協調し、奉仕し、平和で文化的な理想社会の実現に努力することの大切さを学ぶことができます。

5. 富士山を愛し、世界に通ずる豊かな心を育てましょう。

わたくしたちは、富士山に象徴される、この自らのふるさとを愛する者こそ、祖国、世界人類を愛することのできる人間であることを自覚し、ふるさとの優れた文化や伝統を大切にし、この美しい自然環境を破壊から防ぎ、その保全に努める使命をもっております。

この郷土愛を発展させることから、更に、わたくしたちは、世界の人々と手を携え、その文化や生活を尊重し、広い視野で交流し、人類の幸福に貢献できる人間になるように努めることの大切さを学ぶことができます。

☆☆☆☆☆☆ 富士山教育の趣旨 ☆☆☆☆☆☆

心が豊かで、たくましい次代を担う国際社会に通じる児童・生徒の育成を目指して学校・家庭・社会のもつ教育機能を有機的に作用させ、市民一人ひとりの資質能力をのばしていくための生涯教育の推進が課題であります。

富士吉田市民みんなの願いであり、誓いでもある市民憲章の実践とこの精神を生かし地域に根ざした特色のある教育確立のため、郷土の象徴である富士山をかがみとした教育であります。

制定 昭和 60 年 10 月 31 日

< 教 育 行 財 政 >

教育委員会

教育委員会制度につきましては、教育委員長と教育長の責任の明確化、教育委員会の審議の形骸化などから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、富士吉田市においては、平成27年6月1日より新教育委員会制度へ移行しました。

この新制度につきましては、旧制度において、教育委員会のトップでありました教育委員長という職が廃止され、教育長が教育委員会の会務を総理し、教育委員会の代表として、会議の主宰者、事務執行の責任者、事務局の指揮監督者となりました。

また、新制度では、首長と教育委員会が、教育行政の大綱や重点的に構ずるべき施策等について協議・調整を行う場として、首長が招集する総合教育会議を設置することとしており、両者が教育施策の方向性を共有し、一致して執行していくものとしています。

なお、教育委員会は、レイマンコントロールによる合議制の機関であることには変わらず、地域住民の多様な意思や希望、期待に的確に答えながら、継続性や安定性を重視することが望ましいものとされています。

富士吉田市教育委員会は、教育長及び4人の教育委員で構成され、人格が高潔で、教育、芸術、学術及び文化に関し識見を有するもののうちから市長が議会に提案し、同意を得て任命されており、再任することができます。委員の任命については、保護者である者が含まれることが求められております。任期は、教育長3年、委員は4年であります。

会議は毎月1回開催される会議（定例会）と、緊急の要件が発生したときに開催される会議（臨時会）があります。

また、教育委員会に関わる「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することなどが義務付けられています。

職 務	氏 名	職 業	就任年月日
教育長	渡邊 治男	—	令和6年6月1日
教育長職務代理者	遠山 賢子	主婦	令和4年10月6日
委 員	遠山 直人	会社員	令和6年12月26日
委 員	羽田 誠	自営業	令和3年11月1日
委 員	清水 慶子	薬剤師	令和3年11月1日

(令和7年6月1日現在)

歴代教育委員・教育長

＜ 教育委員 ＞

氏 名	就任年月日	退職年月日
天 野 伝 次	昭和 27. 11. 1	昭和 29. 8. 12
羽 田 奈 奈	27. 11. 1	29. 12. 31
宮 下 忠 三	27. 11. 1	30. 4. 30
堀 内 文 吉	27. 11. 1	31. 9. 30
舟久保吉太郎	30. 2. 6	31. 9. 30
渡 辺 与 資 雄	30. 2. 6	31. 9. 30
宮 下 律 治	30. 5. 13	31. 5. 28
清 伝 作	31. 5. 29	31. 9. 30
堀 内 文 吉	31. 10. 1	34. 9. 30
渡 辺 利 太 郎	31. 10. 1	35. 9. 30
志 村 隆 治	31. 10. 1	35. 9. 30
田 辺 顕 三	31. 10. 1	32. 9. 30
奥 山 雅 美	31. 10. 1	37. 9. 30
羽 田 曄	32. 10. 1	36. 9. 30
刑 部 陽	34. 10. 1	38. 9. 30
勝 俣 徳 裕	35. 10. 1	39. 9. 30
渡 辺 正 利	35. 10. 1	36. 8. 25
奥 脇 孝 美	36. 10. 1	40. 9. 30
渡 辺 育 朗	36. 10. 1	39. 9. 30
武 藤 英	37. 10. 1	41. 9. 30
山 口 光 太 郎	39. 5. 18	43. 5. 17
笹 本 璋	39. 11. 29	43. 11. 28
宮 下 茂 泰	40. 10. 4	44. 10. 3
奥 脇 規 矩 男	40. 10. 4	41. 6. 30
井 出 斧 文	41. 7. 1	43. 5. 17
菊 田 貞 信	41. 10. 1	45. 9. 30
田 辺 功	43. 5. 18	47. 5. 17
荒 井 三 千 男	43. 12. 12	47. 12. 12
奥 脇 孝 美	44. 10. 13	48. 10. 12
武 藤 英	44. 10. 13	48. 10. 12
分 部 隆 造	45. 10. 1	49. 9. 30
堀 内 国 光	47. 5. 20	51. 5. 19
田 辺 義 人	47. 12. 25	50. 3. 20
加々美新吾	48. 11. 1	52. 10. 31
遠 山 栄 郎	48. 11. 1	52. 10. 31
滝 口 猛 雄	49. 10. 1	53. 9. 30
前 田 正 義	50. 3. 24	51. 12. 24
佐 藤 務	51. 5. 20	58. 4. 30
奥 脇 晴 雄	51. 12. 25	55. 12. 24
舟 久 保 寛	52. 11. 1	58. 6. 23
大 庭 三 郎	52. 11. 1	56. 10. 31
志 村 六 男	53. 10. 1	57. 9. 30
渡 辺 泰 敏	55. 12. 25	58. 6. 23
宮 野 謹 一	56. 11. 1	58. 12. 23
渡 辺 典 睦	57. 10. 1	58. 12. 23
中 沢 光 雄	58. 6. 24	59. 12. 24
宮 下 儀 行	58. 6. 24	60. 10. 31
荒 井 三 千 男	58. 5. 11	60. 7. 1
天 野 隆 三	58. 12. 24	平成 元. 10. 31
宮 下 新 十 郎	58. 12. 24	昭和 61. 9. 30
和 光 泰	59. 12. 26	63. 12. 25
勝 俣 誠	60. 7. 2	63. 5. 19
天 野 栄 治	60. 11. 1	平成 元. 10. 31
渡 辺 一 枝	61. 10. 1	2. 9. 30
川 井 清 孝	63. 7. 2	3. 7. 4
志 村 潤 造	63. 12. 26	4. 12. 25
渡 辺 守	平成 元. 11. 1	3. 7. 6
勝 俣 和 夫	元. 11. 1	4. 8. 19

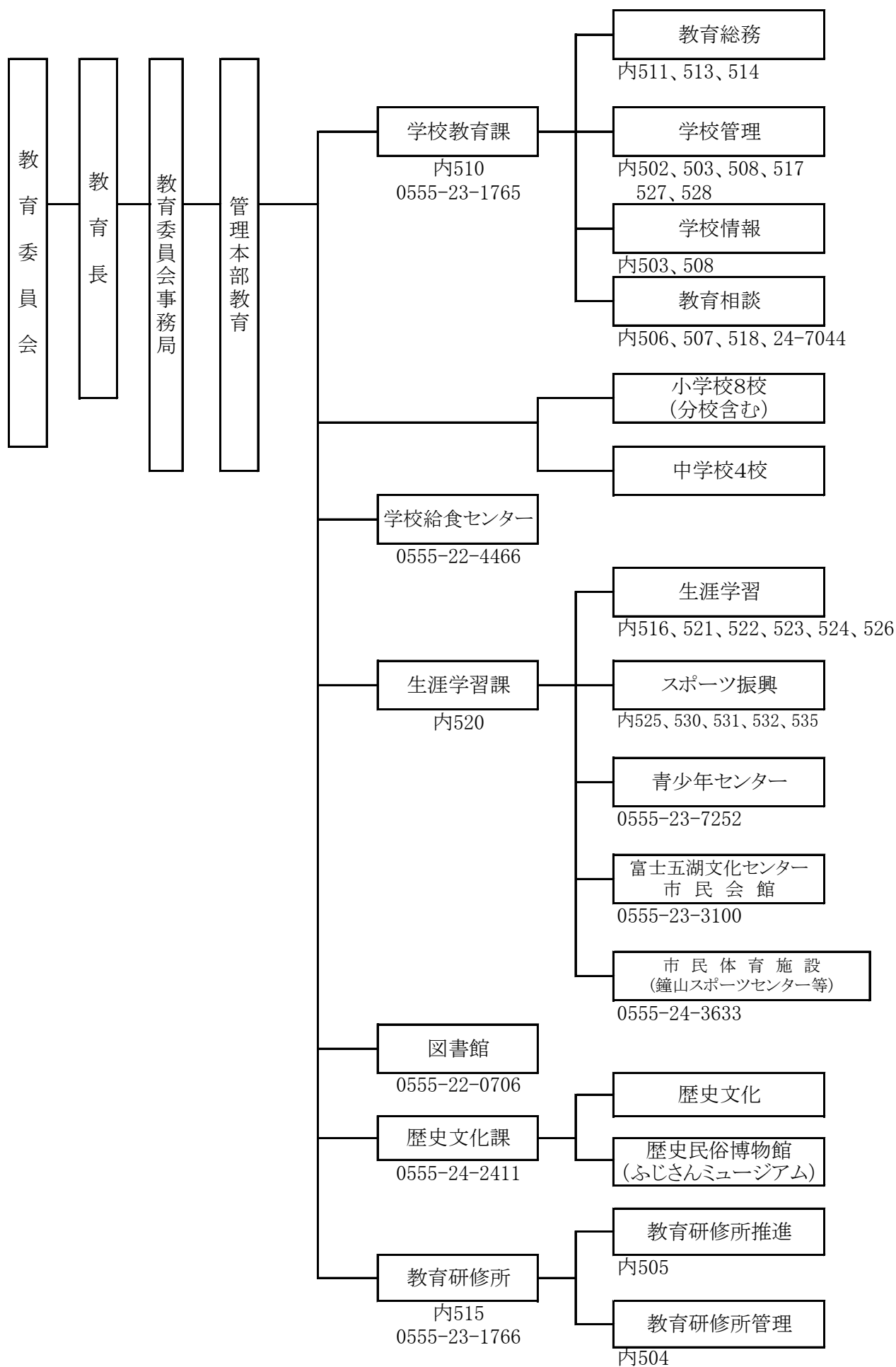
＜ 教育委員 ＞

氏 名	就任年月日	退職年月日
飯 島 弘 子	平成 2. 10. 3	平成 6. 10. 5
小 林 昭 三	3. 7. 10	7. 4. 25
柏 木 幹 弘	4. 10. 3	9. 10. 31
志 村 利 則	4. 12. 26	8. 12. 25
渡 辺 努	5. 11. 1	9. 10. 31
希 代 宏 文	6. 10. 6	10. 10. 5
渡 辺 親	7. 6. 1	8. 7. 1
渡 辺 親	8. 7. 5	11. 5. 6
滝 口 正 行	8. 12. 26	12. 12. 25
山 口 嘉 一	9. 11. 1	11. 12. 1
犬 飼 俊 英	9. 11. 1	13. 10. 31
渡 辺 昭 平	10. 10. 6	14. 10. 5
高 保 建 樹	11. 5. 27	12. 7. 4
高 保 建 樹	12. 7. 5	15. 5. 6
岩 佐 多 計 代	12. 3. 24	17. 10. 31
土 屋 哲 一	12. 12. 26	16. 12. 25
宮 下 節 夫	13. 11. 1	17. 10. 31
荒 井 康 博	14. 10. 6	18. 10. 5
渡 邊 好 一	15. 5. 26	17. 6. 6
渡 辺 合 子	16. 12. 26	20. 12. 25
竹 田 忠 晴	17. 6. 7	19. 5. 31
和 光 泰	19. 6. 1	21. 2. 28
加々美清子	17. 11. 1	21. 10. 31
萱 沼 一 弘	17. 11. 1	21. 10. 31
前 田 耕 一	18. 10. 6	22. 10. 5
滝 口 晴 夫	20. 12. 26	24. 12. 25
桑 原 良 訓	21. 11. 1	25. 10. 31
刑 部 茶 苗	21. 11. 1	25. 10. 31
堀 内 研 司	22. 10. 6	25. 10. 7
市 川 清	24. 12. 26	28. 12. 25
羽 田 由 貴 子	25. 11. 1	26. 10. 5
渡 邊 慈 仁	25. 11. 1	29. 10. 31
武 藤 さ と み	25. 11. 1	29. 10. 31
田 邊 丈 人	26. 10. 6	30. 10. 5
滝 口 峯 子	28. 12. 26	令和 2. 12. 25
宮 下 公 雄	29. 11. 1	3. 10. 31
清 水 慶 子	29. 11. 1	3. 10. 31
堀 内 欣 一 郎	30. 10. 6	4. 10. 5
渡 邊 学	令和 2. 12. 26	6. 12. 25
羽 田 誠	3. 11. 1	
清 水 慶 子	3. 11. 1	
遠 山 賢 子	4. 10. 6	
遠 山 直 人	6. 12. 26	

＜ 教 育 長 ＞

氏 名	就任年月日	退職年月日
山 田 秀 峰	昭 和 26. 11. 30	昭和 31. 9. 30
奥 山 雅 美	31. 10. 1	37. 9. 30
武 藤 英	37. 10. 1	41. 9. 30
山 口 光 太 郎	41. 10. 1	43. 5. 17
田 辺 功	43. 5. 18	47. 5. 17
堀 内 国 光	47. 5. 20	51. 5. 19
滝 口 猛 雄	51. 5. 26	53. 9. 30
佐 藤 務	53. 10. 3	58. 4. 30
荒 井 三 千 男	58. 5. 20	60. 7. 1
勝 俣 誠	60. 7. 12	63. 5. 19
川 井 清 隆	63. 7. 12	平成 3. 7. 4
小 林 昭 三	平成 3. 7. 10	7. 4. 25
渡 辺 親	7. 6. 1	11. 5. 6
高 保 建 樹	11. 5. 27	12. 7. 4
高 保 建 樹	12. 7. 5	15. 5. 6
渡 邊 好 一	15. 5. 26	17. 6. 6
竹 田 忠 晴	17. 6. 7	19. 5. 31
和 光 泰	19. 6. 1	21. 2. 28
秋 山 勝 彦	21. 3. 5	27. 5. 31
小 林 英 明	27. 6. 1	30. 5. 31
杉 本 武 雄	30. 6. 1	令和 3. 5. 31
奥 脇 義 徳	令 和 3. 6. 1	6. 5. 31
渡 邊 治 男	6. 6. 1	

教育委員会事務局機構



教育委員会事務局職員等の配置人員

(令和7年5月1日現在)

課施設等 職名	部長	次長	課長	課長補佐	参事	主幹	主査	職長	主任	主事 主事補	技能主任	技能主事	技能員	嘱託・再任用・その他	任用職員 年度	合計
教育委員会 管 理 本 部	1	1														2
学校教育課			1	2		2	1		1	1				1	122	131
学校給食センター			1	1			2							(2)	2	6
生涯学習課			1	1	1	1	2			3					3	12
図 書 館			1	1		1								1	17	21
歴史文化課			1	2	1				1	1				0	7	13
歴史民俗博物館 (ふじさんミュージアム)														1		1
教育研修所			1	1					1						2	5
合 計	1	1	6	8	2	4	5		3	5				5	153	191

()内の数字は、県栄養教諭を表す

教育委員会関係行政委員会

名 称	委員の要件・定数
富士吉田市社会教育委員会	学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験を有する者 9人
富士五湖文化センター・ 富士吉田市民会館運営委員会	識見を有する者 6人
富士吉田市立図書館協議会	学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験を有する者 9人
富士吉田市スポーツ推進審議会	関係行政機関の職員、スポーツに関し学識経験を有する者 12人
富士吉田市スポーツ推進委員	市民の求めに応じてスポーツの実技の指導を行える者等 24人
富士吉田市歴史民俗博物館協議会	学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験を有する者 9人
富士吉田市文化財審議会	学識経験者 7人以内
富士吉田市学校給食運営委員会	小中学校校長代表2人、小中学校給食主任代表2人、PTA連合会長、PTA連合副会長代表1人、市立保育園長代表1人、識見を有する者1人、校医代表1人、保健所の職員1人
富士吉田市教育研修所運営協議会	小中学校長、教育委員会の事務局及び教育機関の職員、識見を有する者 21人
富士吉田市いじめ問題対策連絡協議会	教育長、教育委員、小中学校長、PTA連合会、都留児童相談所、南都留教育事務所、富士吉田警察署、人権について識見を有する者 9人
富士吉田市立小中学校 適正規模・適正配置検討委員会	学識経験者、地域を代表する者、保護者を代表する者、小中学校長代表、小中学校教員代表、教育委員会代表 20人以内
富士吉田市立中学校 部活動地域展開推進協議会	学校経営研究会代表、学校運営研究会代表、山梨県小中学校体育連盟富士吉田支部代表、中学校の運動部・文化部顧問の代表、保護者代表、富士吉田スポーツ協会の代表、富士吉田文化振興協会の代表、富士吉田市スポーツ推進審議会の代表、富士吉田市スポーツ推進委員会の代表、民間のスポーツ・文化又は芸術活動団体の代表、教育委員会部長 16人以内

富士吉田市教育委員会教育行政基本方針

現下の社会情勢は、人口減少・高齢社会の到来、グローバル化や高度情報化の進展、個々の価値観の多様化、さらには、地方分権や各種制度改革等、大きく、しかも、加速度的に変化してきています。

こうしためまぐるしく進展する現代社会において、市民一人ひとりが生きがいを求め、ゆとりある充実した豊かな生活を創造していくために、富士吉田市教育委員会では、第六次富士吉田市総合計画に基づき「心豊かな人を育む『教育・文化・スポーツ』の充実」を基本理念として、学校教育では、富士山教育憲章にのっとり、美しいものや自然に感動する心、時代を超えて変わらない価値のあるものを尊重する心など、豊かな心の醸成や基礎学力の定着、情報化社会への適応など、子ども達が新しい時代を生きていくための実践的な力となる豊かな人間性の育成を進めます。

また、社会教育では、市民一人ひとりが自己の人格を磨き、豊かな人生を送るための生涯学習活動や文化活動、また、ゆとりや英気を養い、健康の増進をも図るためのスポーツ・レクリエーション活動等の活動環境を充実するとともに、本市固有の歴史、伝統、文化を後世に継承するなど、市民文化の形成を進めます。

令和7年度 富士吉田市学校教育指導重点（指針）

学習指導要領 ◎「生きる力」を育む ・生きて働く「知識及び技能」の習得 ・「思考力、判断力、表現力」の育成 ・「学びに向かう人間性」などの涵養 ◎「社会に開かれた教育課程」の実現 ○「主体的・対話的で深い学び」の実現 ○カリキュラム・マネジメントの確立 言語能力の育成、理数教育の充実 伝統や文化に関する教育の充実 道徳教育の充実、体験活動の充実 外国語活動の充実、特別支援教育の充実 体験活動の充実 情報教育の充実 など	山梨県教育大綱 山梨県教育振興基本計画 主体的に学び 他者と協働し 豊かな未来を拓くやまなしの人づくり ～誰もが教育の機会にアクセスできるやまなし～ 基本理念 ○主体的に学ぶ ○他者と協働する ○豊かな未来を拓く 基本理念を実現するための目標と基本方針 I 未来を生きる子供に必要な力を育む教育の推進 ①自立した学習者の育成 ②確かな学力の育成 ③豊かな心の育成 ④健やかな体の育成 ⑤幼児期における質の高い教育の推進 ⑥グローバルに活躍する人材の育成 ⑦キャリア教育の推進 ⑧イノベーションを牽引する人材の育成 II 誰もが可能性を伸ばせる教育の推進 ⑨個に応じた指導の充実 ⑩多様な学びの実現 ⑪特別支援教育の充実 ⑫生きがいを持ち、社会参画するための学びの推進 ⑬生涯を通じた文化芸術活動の推進 ⑭学校・家庭・地域の連携・協働の推進 III 教育DXの推進の推進 ⑮GIGAスクール構想の推進 ⑯情報活用能力の育成 ⑰学校におけるDXの推進 IV 学校を取り巻く教育環境の整備 ⑱学校における働き方改革の推進	富士吉田市民憲章 富士山教育憲章 ○高い理想と、揺るがぬ信念をもって生きる心 ○健やかな身体と、広く温かい心 ○困難を乗り越え、たゆまず努力する力 ○きまりを守り、進んで社会に尽くす心 ○富士山を愛し、世界に通ずる豊かな心 富士吉田市教育大綱 心豊かな人間性の育成と市民文化の形成	第6次富士吉田市総合計画 ○心豊かな人を育む 「教育・文化・スポーツ」の充実 ・教科指導の充実 ・社会に開かれた特色ある学校づくりの推進 ・国際理解教育、特別支援教育、ICT教育 ・教育相談体制の充実 ・教職員の資質向上 ・学校間等の交流連携活動の推進 ・富士山学習による郷土愛教育の充実 ・学校給食の充実と食育の推進
将来の活力ある富士吉田市を創造する子供たちに求められる資質・能力 知・徳・体にわたる「生きる力」 ①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう人間性等 言語活動、理数教育、伝統文化に関する教育、道徳教育、体験活動、 外国語教育、体育・健康、社会の進展に対応した教育、特別支援教育の充実			

富士山教育

富士山をかがみとした、心豊かでたくましく国際社会に通じる児童生徒の育成をめざす地域に根ざした特色ある教育

〔確かな学力の育成〕
○確かな学力と自立する力の育成
○生涯にわたり学習する基盤の育成
○富士吉田の特色を発信する力の育成

〔豊かな心の育成〕
○豊かな心と自己実現を図る力の育成
○よりよい人間関係の育成
○郷土を愛する心の育成

〔健やかな身体育成〕
○健康で安全な生活を創りだす力の育成
○体力向上の基礎の育成
○富士北麓の自然環境を生き抜く力の育成

学校教育指導重点

●学習指導要領の趣旨を反映した教育課程の編成

- ・教育課程の編成・実施・評価・改善を行う。
- ・教科等横断的な教育課程の編成を行う。
- ・新しい時代の子供たちに求められる資質・能力を社会と共有し連携する「社会に開かれた教育課程」をつくり上げていく。
- ・幼保小の円滑な接続を図るため、「幼保小の架け橋プログラム」に基づくカリキュラムの実施、検証、改善に取り組む。
- ・小学校高学年における教科担任制を推進する。
- ・小中学校の合同研究会などを実施し、小中連携による効果的な指導の実現を図る。

●学級・学年経営の充実

- ・教師と児童生徒との信頼関係及び児童生徒相互のよりよい人間関係を育てる土台となる、集団づくりを進める。
- ・児童生徒が所属観、自己肯定感、自己有用感を持つことができるような活動を推進する。
- ・互いの良さや可能性を発揮できる取り組みを通し、安心して過ごせる教室を創造する。

●授業の質的向上による確かな学力の育成

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、「何ができるようになるか」を明確化した授業改善を全校体制で進める。
- ・「個別最適な学び」、「協働的な学び」の一体的な充実
「教師主導の授業」から、「子供主体の授業」への授業観の転換
- ・指導の個別化と学習の個性化による「個に応じた指導」の充実を図り、「個別最適な学び」をつくり出す。
- ・異なる考え方が組み合わせり、よりよい学びを生み出す「協働的な学び」の充実を図る。
- ・1人1台タブレット等ICT機器の日常的かつ効果的な活用により、学習指導要領を着実に実施する。
- ・各教科等の「見方・考え方」を働かせられるよう、各教科の特質に応じた言語活動の充実を図る。
- ・学習の過程や成果を評価し、資質・能力の育成に生かせるよう、指導と評価の一体化を図る。
- ・「やまなしスタンダード」に基づいた授業実践を実施する。
- ・教職員の指導力の向上を図る。

●富士山学習の推進

- ・年間指導計画と単元授業計画に基づいた授業実践を推進する。
- ・富士山学習に関する地域の人的・物的資源を積極的に授業の中に取り入れる。
- ・地域素材の教材化を全校体制で積極的に進める。
- ・「富士山を知る学習」と「地域を知る学習」の充実を図り、郷土を愛する心の涵養を図る。
- ・富士山学習の成果を情報発信する機会を積極的に取り入れる。

●家庭学習定着の推進

- ・家庭学習についての家庭への働きかけや支援について、全教職員で共通理解を図り、全校体制で推進する。
- ・児童生徒の実態に応じて、ミライシードやeライブラリを積極的に活用する。
- ・県教委「学びのすすめー学び甲斐善八か条」を参酌して「家庭学習の手引き」を改善し、家庭と連携した取り組みを推進する。

●外国語教育の充実

- ・ALTとのチーム・ティーチングを活かし、コミュニケーション活動を中心とした学習活動を充実させる。
- ・「CAN-DOリスト形式」による学習到達度目標に基づいた目標と指導と評価の一体化を図る。

●人権教育の推進

- ・他の人の立場に立って、考えや気持ちなどが分かるような想像力、共感的に理解する力を身につける。
- ・考えや気持ちを適切かつ豊かに表現し、伝え合いわかり合うためのコミュニケーション能力を身につける。
- ・他の人との人間関係を調整する能力及び自他の要求を満たすことができる能力や技能を身につける。

●道徳教育の推進

- ・道徳科を核として、他教科等との関連を明確にした道徳教育全体計画の改善を図り、全教師が学校の教育活動全体を通じて道徳教育を推進する。
- ・「考え、議論する道徳」の授業づくり、「自己との対話を深める」授業づくり、問題解決的な学習過程の導入、「物事を多面的・多角的に考える」授業づくり等を研究・実践し、道徳科の趣旨を踏まえた授業を構築する。
- ・情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を育成するための情報モラル教育を推進する。

●いじめを許さない集団づくりと安心できる環境づくり

- ・いじめの未然防止、早期対応、継続支援を図るために、校内研修会を充実させるとともに、教職員相互が積極的に情報交換を行うための体制を確立する。
- ・学校いじめ防止基本方針について、国・県の改定内容を基に点検・改定するとともに、子供や保護者に周知する。
- ・総合教育支援員やSC、SSWと効果的に連携し、校内における教育相談体制を充実する。
- ・SOSの出し方に関する教育を進め援助希求的態度を育成する。

●不登校児童生徒一人一人に対応した組織的な支援

- ・生徒指導提要の改訂により、発達支持的生徒指導の充実を図るため、児童生徒の多様性を認め合う魅力ある学校づくりのための研修等を進める。
- ・総合教育支援員による電話相談・面接相談の実施、教育支援室運営の充実、学校訪問の実施等により、不登校や心身に悩みをもつ児童生徒に対する組織的・継続的な支援を、総合教育支援員と学校が連携して進める。
- ・学校のケース会議の充実、子育て支援課や児童相談所等の関係機関、SCやSSWとの連携により、不登校児童生徒の再登校への支援や社会的自立に向けた支援を、共通理解を図りながら実施する。
- ・WEBQU検査結果の有効活用やソーシャルスキル学習の実施等により、学校全体として、不登校が生じないための魅力ある学校づくり、「心の居場所」としての学級づくりを進める。
- ・児童生徒理解やカウンセリングなどのスキルアップを図る研修を充実させ、教職員の資質・能力を高める。
- ・ヤングケアラーや貧困の状態にある児童生徒の早期発見・状況把握に努め、関係機関との連携を図り、児童生徒を支援する。
- ・校種を超えて、切れ目のない指導や支援の継続を図る。

●一人一人のニーズに応じた特別支援教育の充実

- ・障害に関する知識や配慮等について正しい理解と認識を深め、組織的な対応を行うため、全教職員を対象とした研修を実施する。
- ・ふじざくら支援学校のセンター的機能を積極的に活用する
- ・「個別的教育支援計画」作成の意義や活用についての理解を深め、支援計画を作成・活用し、切れ目のない支援を行う。
- ・連続性のある多様な「学びの場」における支援の充実を図る。
- ・こども家庭センターや福祉課等の関係機関との連携体制や、臨床発達心理士を活用した適性就学支援体制等を充実させ、幼保小の連携を充実させる。

●子供が安全で安心して生活できる環境づくり

- ・全教職員の共通理解のもと、富士山噴火等も想定した「学校危機管理マニュアル」の見直し・改善を行う。
- ・危険予測能力と危険回避能力を高める安全教育を系統的に推進するとともに、実践的な安全教育、防災・防犯訓練等を実施する。
- ・防災・防犯に関する教職員の研修を実施すると共に、避難所運営についての教職員の理解を深める。
- ・グローバルな視点で環境保全に努める人材育成のため、持続可能な開発に向けた教育を進める。

●体力の向上

- ・体育、保健体育の授業において、基礎的な運動能力の育成を図るとともに、学校教育活動を相互に関連させながら、運動やスポーツに親しみ、楽しさや意義を実感することのできる機会を充実させる。
- ・運動習慣、朝食摂取、十分な睡眠等、望ましい生活習慣の定着を通じて体力の向上を図る。
- ・各校の課題を踏まえ「健康・体力づくり一校一実践運動」を充実させ、運動習慣の定着と体力向上を図る。
- ・小学校においては、体づくり運動領域を中心に、課題となっている体力の向上を意図した運動をゲーム性を持たせるなどして、楽しみながら継続して行う。中学校においては、体育理論で習得した知識を各運動領域で活用する。

●健康教育の推進

- ・体育・保健体育をはじめ各教科や特別活動、総合的な学習の時間等と相互に関連させて実践する。
- ・自らの健康を適切に管理し、望ましい生活習慣を確立していくための資質・能力を育成する。
- ・各学校の食に関する課題に応じた目標を設定し、課題解決に資する取り組みを計画的に行う。

●地域や世界で活躍できる人材の育成

- ・キャリアパスポートを活用し、小中高の学びの継続を図る。
- ・中学校2年において、職場体験学習を推進し、地域にある事業所を知り職業観を養う。
- ・中学校3年において、「ふるさと発見ワークショップ」を実施し、郷土の魅力の再発見と講師の生き方や職業観に触れ、自らの進路選択に結びつけられるようにする。
- ・社会的・職業的自立に向けたキャリア学習を教育課程に位置づけ、児童生徒のキャリア発達を促す。

●各校種間の交流・連携の推進

- ・子供たちの成長を系統的・継続的に適切に支援していくために、幼児教育から中等教育（幼稚園・保育園・中学校、高等学校、特別支援学校）にかけての各校種間の交流・連携活動を推進する。
- ・多様化・複雑化・深刻化する教育課題への対応並びに活力ある地域社会を創造する子供の育成のために、各校種間の情報交換や協議を推進する。

●地域学校協働活動の推進

- ・学校運営協議会について正しく理解し、学校と地域との連携・協働体制を確立し、地域全体で子供の成長を支える。
- ・地域の特色に応じて、学校支援活動を行う学校支援地域本部の組織化を図る。
- ・休日部活動の地域連携や地域クラブ活動への展開を図る。

●学校を取り巻く教育環境の整備

- ・校務のICT化による教職員の負担軽減を図り、教育の質の向上を図る。
- ・働き方改革を全員が担当者にとらえ、みんなのウェルビーイングの実現を目指す。

教育委員会事務局分掌

【 学 校 教 育 課 】

教育行政の総合計画、調整及び相談に関すること。
教育委員会委員及び教育長の秘書に関すること。
表彰に関すること。
教職員の服務、研修、福利厚生及び人事に関すること。
教育委員会の会議に関すること。
教育委員会規則等の制定及び改廃に関すること。
文書及び公印に関すること。
教育委員会の予算の経理及び統括に関すること。
教育委員会に係る事務の管理及び執行の状況の点検及び評価並びにその公表に関すること。
教育行政に係る調査及び統計に関すること。
学校その他の教育機関の設置及び維持管理に関すること。
教具その他の学校用品の調達、出納、保管及び処分に関すること。
就学時の児童及び生徒の就学事務及び健康管理に関すること。
通学区域に関すること。
学級編制に関すること。
学校教育の指導及び助言に関すること。
学校給食センターとの連絡及び調整に関すること。
教育委員会事務局内の連絡及び調整に関すること。
教育委員会事務局内の行政改革に関すること。
就学奨励・就学援助に関すること。
学校の情報システムの管理及び運用に関すること。

【 学 校 給 食 セ ン タ ー 】

学校給食センターの管理運営に関すること。
給食用物資の購入及び保管並びに学校給食の調理及び運搬に関すること。
学校給食費に関すること。
学校給食における食育及び食物アレルギーに関すること。
その他学校給食に関すること。

【 生 涯 学 習 課 】

社会教育関係機関及び団体の指導、連絡及び調整に関すること。
生涯教育のための総合的企画及び調整に関すること。
生涯教育のための講座並びに資料の収集及び刊行に関すること。
高齢者教育に関すること。
幼児教育に関すること。
視聴覚ライブラリーに関すること。
青少年対策事業に関すること。
富士五湖文化センター・市民会館に関すること。
青少年センターに関すること。
芸能、文化及び芸術活動の振興に関すること。

文化団体の指導及び助言に関すること。
自治会文化部の指導及び助言に関すること。
一般財団法人富士吉田文化振興協会との連絡及び調整に関すること。
スポーツの振興に関すること。
社会体育団体の指導及び連絡に関すること。
社会体育指導者の養成に関すること。
レクリエーション活動に関すること。
保健体育等に係る調査、研究及び事業に関すること。
市民体育施設等の整備及び管理に関すること。
JOCパートナー都市に関すること。

【 図 書 館 】

図書、記録、視聴覚その他必要な資料の収集、整理、保存及び利用に関すること。
読書案内、読書相談及び利用相談に関すること。
他の図書館、学校図書館等との協力及び図書館資料の相互貸借に関すること。
学校、博物館、研究所等との協力に関すること。
図書館協議会に関すること。
その他図書館の管理運営に関すること。

【 歴 史 文 化 課 】

文化財の調査及び研究に関すること。
文化財の保護及び保存に関すること。
文化財の指定に関すること。
歴史民俗博物館の管理運営に関すること。
歴史民俗博物館の学芸事業に関すること。
旧外川家住宅に関すること。
世界遺産富士山の文化的保存活用に関すること。
富士吉田市文化財保存活用地域計画に関すること。

【 教 育 研 修 所 】

教育に関する専門的、技術的事項の調査研究に関すること。
教育関係職員の研修に関すること。
教育に関する情報の収集、整理、保管及び活用に関すること。
教育相談に関すること。
前各号に掲げるもののほか、富士吉田市教育委員会が必要と認める事項。

教育財政

心豊かな人を育む『教育・文化・スポーツ』の充実

令和7年度の主な事業

(単位：千円)

総事業費

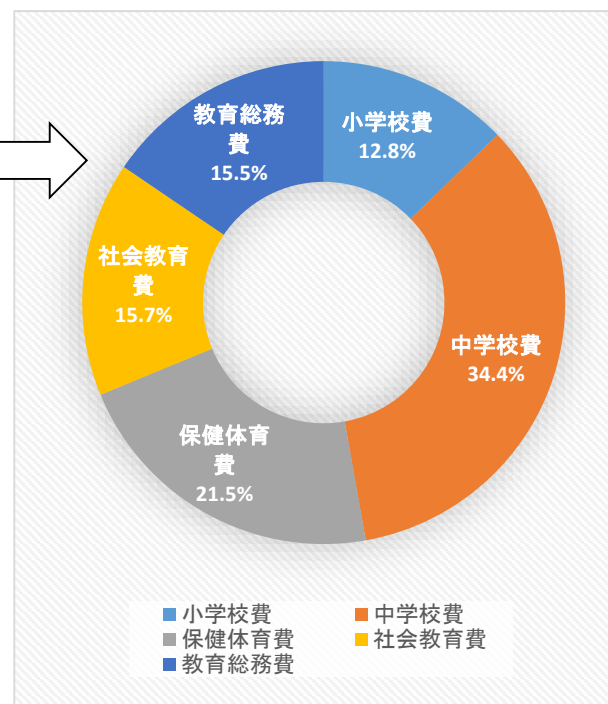
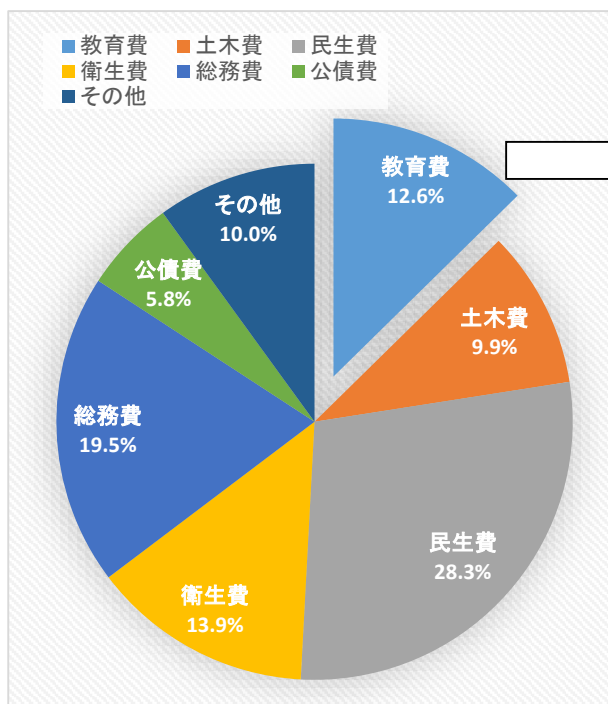
3,780,089 千円 (総務管理費を含む)

心豊かな人を育む『教育・文化・スポーツ』の充実	3,780,089
1 就学前教育	640
2 学校教育	2,482,897
3 青少年	10,221
4 生涯学習	108,979
5 文化・芸術	264,992
6 スポーツ・レクリエーション	70,893
7 一般経費 (教育委員会管理事業外5事業)	159,354
8 人件費 (教育委員会費外8件)	682,113

【富士吉田市教育予算資料】

令和7年度 市一般会計予算 **289億7,000万円**

令和7年度 教育費予算 **36億6,136万円**



令和7年度 教育費予算内訳

(単位：千円)

項 目	金 額	摘 要
総務管理費	1. 市 民 会 館 費	105,616 市民会館管理運営事業
	2. 青 少 年 セ ン タ ー 費	13,114 青少年センター管理運営事業
	総 務 費 合 計	118,730

項 目	金 額	摘 要
教育総務費	1. 教 育 委 員 会 費	466,869 教育委員会管理事業、総合教育支援事業他
	2. 教 育 研 修 所 費	92,439 富士山教育研究実践事業、外国語指導委託事業、教育研修所事業
	3. 充て指導主事共同設置費	1,262 富士吉田市外1市2町4村1組合充て指導主事共同設置事業
	4. 通級指導教室共同設置費	6,649 富士吉田市外2町4村1組合通級指導教室共同設置事業
	5. 教育文化振興基金費	641 教育文化振興基金管理事業（羽田文庫）
	計	567,860
小学校費	1. 学 校 管 理 費	382,173 各小学校管理事業、小学校校舎等維持管理事業他
	2. 教 育 振 興 費	85,959 特色ある学校づくり事業、校外活動支援事業、教育振興事業、児童就学援助・奨励事業
	計	468,132
中学校費	1. 学 校 管 理 費	1,214,591 各中学校管理事業、中学校校舎等維持管理事業他
	2. 教 育 振 興 費	45,970 特色ある学校づくり事業、校外活動支援事業、教育振興事業、生徒就学援助・奨励事業
	計	1,260,561
社会教育費	1. 社 会 教 育 総 務 費	77,839 社会教育推進事業
	2. 生 涯 学 習 講 座 費	8,980 生涯学習講座事業
	3. 図 書 館 費	178,792 子供読書推進事業、図書館管理運営事業等
	4. 文 化 財 保 護 費	22,973 文化財保護対策事業
	5. 文 化 振 興 費	7,250 芸術文化振興事業
	6. 博 物 館 費	265,114 御師外川家住宅整備活用事業、博物館管理運営事業、博物館学芸事業
	7. 青 少 年 対 策 費	14,975 青少年教育事業、放課後子ども教室推進事業
	計	575,923
保健体育費	1. 保 健 体 育 総 務 費	40,178 スポーツ推進委員事業、スポーツ振興事業他
	2. 体 育 施 設 費	53,530 市民体育施設管理事業、公立学校体育施設一般開放事業
	3. 学 校 給 食 費	695,175 学校給食センター運営事業
	計	788,883
教育費合計		3,661,359

< 学校教育課 >

1. 市内小・中学校一覧

(令和7年5月1日現在)

学 校 名	創立年月日	所 在 地	学 級 数	児 童 生徒数	職 員 数	校 長 氏 名	電 話
下吉田第一 小 学 校	明6.10.16	新町1-8-1	8	94	13	佐藤 尚武	(22) 0220
下吉田第二 小 学 校	昭27.10.16	緑ヶ丘2-8-2	22	430	40	伊藤 秀一	(22) 0093
下吉田東 小 学 校	昭51.9.25	下吉田9-21-1	13	247	21	渡邊ひとみ	(23) 7831
明 見 小 学 校	明6.9.9	小明見1-4-6	20	336	27	加々美正孝	(22) 0425
吉 田 小 学 校	明6.10.13	上吉田5-1-1	25	532	38	梶原 壮史	(22) 0266
吉田小学校 分 校	平13.4.1	上吉田東7-11-1 富士吉田市立病院内	1	0	2	梶原 壮史	(20) 1361
吉 田 西 小 学 校	昭53.9.28	新西原3-7-1	17	318	26	井上 信子	(24) 0305
富 士 小 学 校	昭35.4.8	上暮地1-22-1	8	95	15	堀内 ちえ	(22) 3544
下 吉 田 中 学 校	昭22.11.7	新町4-12-27	15	407	32	渡邊 正人	(22) 0468
明 見 中 学 校	昭22.10.18	小明見1-4-14	9	181	21	加々美竜也	(22) 0184
吉 田 中 学 校	昭22.12.6	上吉田1-3-6	18	420	35	村 松 悟	(22) 0586
富 士 見 台 中 学 校	昭57.10.6	上暮地1-6-1	5	46	13	宮下かほる	(24) 0018

2. 小・中学校児童・生徒数及び教職員数

校 種	学校数	学級数	児童生徒数			教職員数		
			男	女	計	男	女	計
小 学 校	8	114	1,050	1,002	2,052	52	130	182
中 学 校	4	47	536	518	1,054	53	48	101
計	12	161	1,586	1,520	3,106	105	178	283

3. 小・中学校 学級数・児童生徒数・教職員数の推移

(各年度5月1日現在)

学校名		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度
下吉田第一小学校	学級数	8	8	8	7	7	7	7	7	7	8	8	8	8
	児童数	114	103	102	91	80	80	71	73	79	83	89	91	94
	職員数	13	16	16	13	13	15	14	14	14	14	14	14	13
下吉田第二小学校	学級数	23	22	22	22	21	21	22	23	23	21	22	23	22
	児童数	537	503	533	528	536	536	532	528	511	483	459	448	430
	職員数	40	43	42	40	39	41	39	41	43	42	41	40	40
下吉田東小学校	学級数	16	16	16	15	14	14	13	13	13	13	14	13	13
	児童数	326	325	321	307	294	294	295	289	267	252	251	245	247
	職員数	23	28	29	27	20	26	24	24	22	20	21	20	21
明見小学校	学級数	20	18	17	17	17	17	16	16	16	16	17	18	20
	児童数	465	439	418	398	394	394	377	379	358	361	346	337	336
	職員数	27	29	27	27	28	29	27	26	25	25	28	26	27
吉田小学校	学級数	25	23	24	24	23	24	25	25	24	24	26	27	26
	児童数	651	637	650	638	620	620	620	607	584	572	541	534	532
	職員数	38	42	43	41	37	42	39	39	38	41	42	40	40
吉田西小学校	学級数	16	16	16	16	15	15	15	15	16	17	18	19	17
	児童数	353	336	316	291	299	299	296	289	297	314	331	325	318
	職員数	27	27	30	27	21	25	26	22	24	27	28	29	26
富士小学校	学級数	9	10	10	9	7	7	7	6	6	6	7	8	8
	児童数	210	197	182	148	123	123	109	101	92	93	90	99	95
	職員数	18	21	19	15	12	13	14	12	13	13	16	15	15
小学校 合計	学級数	117	113	113	110	104	105	105	105	105	105	112	116	114
	児童数	2,656	2,540	2,522	2,401	2,346	2,346	2,300	2,266	2,188	2,158	2,107	2,079	2,052
	職員数	186	206	206	190	170	191	183	178	179	182	190	184	182
下吉田中学校	学級数	18	19	19	18	19	19	20	18	17	19	17	16	15
	生徒数	556	561	560	538	484	484	478	461	459	461	438	413	407
	職員数	36	38	43	39	40	42	41	37	34	38	35	33	32
明見中学校	学級数	12	11	11	11	11	11	10	9	8	8	8	8	9
	生徒数	301	287	265	255	227	277	221	205	202	197	197	194	181
	職員数	23	21	25	27	25	26	24	22	20	21	22	21	21
吉田中学校	学級数	17	17	17	17	17	17	18	18	18	17	16	17	18
	生徒数	553	512	527	507	473	473	467	449	469	461	443	411	420
	職員数	37	39	42	40	35	37	36	36	39	34	32	34	35
富士見台中学校	学級数	4	5	5	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5
	生徒数	94	93	96	86	70	70	80	66	58	48	50	45	46
	職員数	15	14	17	17	16	17	16	12	11	12	13	13	13
中学校 合計	学級数	51	52	52	51	52	52	53	50	47	49	46	46	47
	生徒数	1,504	1,453	1,448	1,386	1,254	1,304	1,246	1,246	1,188	1,167	1,128	1,063	1,054
	職員数	111	112	127	123	116	122	117	107	104	105	102	101	101

4. 小・中学校施設状況等

小 学 校

(単位：㎡)

学 校 名	校 地 の 現 状			校 舎 の 現 況		
	建物敷地	運動場	プール用地	校舎	屋内運動場等	プール
下吉田第一小学校	4,512	4,632	821	3,700	830	707
下吉田第二小学校	24,774	18,043	898	6,502	1,278	899
下吉田東小学校	10,505	10,970	903	3,900	952	903
明見小学校	9,569	9,464	825	5,801	961	787
吉田小学校	8,063	8,018	868	5,626	1,010	745
吉田小学校（分校）	—	—	—	40	—	—
吉田西小学校	9,335	6,460	786	4,636	972	786
富士小学校	9,032	12,667	780	4,263	868	705

中 学 校

(単位：㎡)

学 校 名	校 地 の 現 状			校 舎 の 現 況		
	建物敷地	運動場	プール用地	校舎	屋内運動場等	プール
下吉田中学校	14,747	16,021	1,352	7,644	1,565	925
明見中学校	10,347	11,317	966	4,924	1,960	967
吉田中学校	10,726	9,589	997	6,274	1,654	983
富士見台中学校	7,902	10,202	0	3,018	911	0

※小規模な建物（倉庫、部室、便所等）は除く。

5. 教職員構成

令和7年5月1日現在

区分 職名	小 学 校			中 学 校			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
校 長	4	3	7	3	1	4	7	4	11
教 頭	5	4	9	7	1	8	12	5	17
教 諭	42	108	150	42	36	78	84	144	228
養 護 教 諭	0	8	8	0	4	4	0	12	12
講 師	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栄 養 教 諭 栄 養 教 職 員	0	1	1	0	1	1	0	2	2
事 務 職 員	1	6	7	1	5	6	2	11	13
合 計	52	130	182	53	48	101	105	178	283

市費負担教職員

区分 職名	小 学 校			中 学 校			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
学 校 用 務 員	8	0	8	4	0	4	12	0	12
市 単 養 護 士	0	3	3	0	2	2	0	5	5
市 単 教 諭	1	6	7	3	4	7	4	10	14
特別支援教育支援員	0	30	30	1	8	9	1	38	39
学 校 図 書 司 書	0	7	7	0	4	4	0	11	11
学力向上支援スタッフ	5	11	16	0	3	3	5	14	19
スクールサポート ス タ ッ フ	0	2	2	0	0	0	0	2	2
部 活 動 指 導 員	0	0	0	10(1)	2(2)	12(3)	10(1)	2(2)	12(3)
合 計	14	59	73	18	23	41	32	82	114

()内の数字は兼務している者を表す

6. 令和7年度学校医・学校歯科医・学校薬剤師一覧

(令和7年5月1日現在)

区分 校名	内科医	眼科医	耳鼻科医	歯科医	薬剤師
下吉田第一小	天野 裕久 露木 和光	齋藤 克也	大戸 武久	渡辺 佑一	住吉 修一
下吉田第二小	羽田 治夫 石田 珠明 小林 智人 渡邊 佳洋	小林 寛	堀内 貴和子	桑原 幹夫 奥脇 章	住吉 修一
下吉田東小	羽田 治夫 小林 智人 宮下 智之	齋藤 克也	堀内 貴和子	三浦 一之	渡辺 雅人
明見小	宮下 智之 保坂 嘉之 羽田 義信 刑部 利雄	齋藤 克也	堀内 貴和子	天野 義丸 真田 丈年	守山 誠
吉田小	川村 喜太郎 渡辺 憲一 吉田 徹 佐藤 満	小林 寛	代永 孝明	田辺 靖喜 周東 左起子	壁谷 公彦
吉田西小	佐藤 満 内藤 雄一 渡辺 憲一	小林 寛	石橋 淳	中村 英二	渡辺 雅人
富士小	米山 公造 川村 喜太郎 渡辺 洋	齋藤 克也	大戸 武久	滝口 正	土屋 貢
下吉田中	田辺 誠 内藤 雄一 宮下 智之 中澤 正典	齋藤 克也	堀内 貴和子	白須 弘道 渡邊 秀昭	住吉 晃一
明見中	鈴木 哲男 羽田 義信 吉田 徹	小林 寛	堀内 貴和子	大森 茂生	守山 誠
吉田中	三浦 真梨子 田辺 誠 鈴木 博 渡邊 佳洋 高田 健右	小林 寛	代永 孝明	天野 高宏 渡邊 和俊	壁谷 公彦
富士見台中	米山 公造 田邊 好英	齋藤 克也	大戸 武久	希代 忠男	土屋 貢



学校名：富士吉田市立下吉田第一小学校

所在地：富士吉田市新町1丁目8番1号

TEL：0555 (22) 0220

FAX：0555 (22) 1079

校長：佐藤 尚武 教頭：武藤 由美

主な沿革	<p>明治 6年10月16日 福源寺に吉田学校できる 6年11月15日 正福寺に新倉学校できる 7年 吉田学校は下吉田学校に改称 8年 下吉田学校は瑞穂学校に改称 9年 瑞穂学校、新倉学校は合併し現在地へ移る 10年 高等小学瑞穂学校と改称 20年 瑞穂尋常小学校と改称(4年制) 26年 瑞穂高等小学校を併置 41年 尋常科6年制となる 45年 新制高等小学校第3学年を新設 大正 7年 実業補習学校を設置 14年 児童が増え現みづほ公園に校舎増設 昭和 2年 瑞穂実業学校に分割 13年 現みづほ公園に吉田高校の前身開校 16年 下吉田国民学校と改称、緑ヶ丘第二校できる(後に下吉田第二小学校) 21年 児童数3,613人を数える 22年 下吉田小学校と改称(義務教育6年) 23年 校歌制定 27年 富士吉田市立下吉田第一小学校と改称 下吉田第二小学校を分離 28年 本校徽章・バッジを制定 48年 創立百周年記念事業挙行 51年 下吉田東小学校を分離</p>	<p>52年 情緒学級(ふじっ子学級)を併設 54年 新校舎落成 57年 西校舎跡地「みづほ公園」を市へ移管 平成4/5年 「特殊教育教育課程研究推進校」指定 6年 山梨県情緒障害教育研究会総会開催 23年 日本PTA団体表彰(文部科学大臣) 24年 下一小学校地域安全委員会設立 25年 下一小おもてなし宣言を県に登録 26年 交通安全子供自転車山梨県大会 6年生チーム準優勝 27年 子どもの体力向上推進事業推進校指定 学校保健推進優良校表彰 おもてなしのやまなし知事表彰 30年 体育館(西体育館)取り壊し 令和2年度より特認校指定 下吉田第一小学校地域支援協議会 「未来へ拓く会」発足 令和2年 「小規模特認校」初年度 体育館倉庫増設・エアコン完備 令和3年 体育館修復(屋根・外装等)工事完成 保健室シャワールーム設置 令和4年 知的障害学級(さくら学級)を併設 児童・職員玄関修復工事完成 令和5年 校庭大時計設置 令和6年 防災用折りたたみヘルメット配備</p>
教育目標	<p>「明るく心豊かな子ども」の育成</p> <p>① よく考え、判断し、行動できる子ども ② 進んで物事に取り組み、努力する子ども ③ 思いやりを持ち、人や物を大切にする子ども ④ 健康でねばり強くがんばる子ども</p>	
学校の特徴	教科等の名称	<p>各教科、総合的な学習</p> <p>(1) きめ細かな指導の推進 (2) 国際理解教育の推進 (3) 本物にふれる「ふるさとふれあい学習」の推進 (4) 異年齢による交流活動の推進 (5) 学校と地域との連携・協働の推進</p>
教育指定校等の研究内容	教育指定校等の名称	<p>小規模特認校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内のどこからでも入学の希望が可能 ・少人数だからこそできるきめ細かな指導 ・活躍の場が多く、一人一人が活躍できる学校
主研究	<p>「自分の考えを進んで伝え合える児童の育成」 ～協働的な学びにおける学習規律の確立と個別最適な学びに向けたICTの活用～</p>	



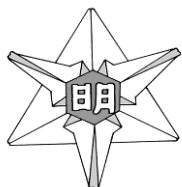
学校名：富士吉田市立下吉田第二小学校
 所在地：富士吉田市緑ヶ丘2丁目8番2号
 TEL：0555(22)0093
 FAX：0555(22)0074
 校長：伊藤 秀一 教頭：太田 友仁 鈴木 利基

主な沿革	明治6年 吉田学校として発足 8年 瑞穂学校として改名 20年 瑞穂尋常小学校となる 昭和3年 学校創立記念日を制定 22年 下吉田小学校となる 27年 下吉田小学校から分離 下吉田第二小学校となる 28年 校旗制定 42年 校歌制定 56年 学校創立30周年記念 57年 第一棟校舎増築完成 58年 第二棟校舎普通教室完成 59年 第二棟特別教室完成 第一・第二グラント整備 平成6年 本校敷地に甲府養護学校吉田分校 を開設する 交流(ことば)教育提携校指定 14年 パソコンLAN設置工事 15年 学校創立50周年記念事業 第一棟耐震・トイレ改修工事 17年 金管バンド全国大会出場 18年 ベルマーク700万点表彰		19年 体育館完成、玄関前駐車場完成 25年 西関東バンドフェスティバル銀賞受賞 「二宮尊徳像」再設置 26年 二棟屋上太陽光パネル設置 27年 二棟児童トイレ改修工事 校長室ペレットストーブ設置 職員室、図書室ペレットストーブ設置 28年 2棟床の修繕工事 30年 エアコン設置工事(各教室等) 令和元年 電子黒板整備(各教室等) 2年 新型コロナウイルス感染症による休校 3年 一人一台タブレット導入 4年 ミニ美術館1棟3階に移転オープン 5年 受水槽入替工事・体育館LED化 よつばエアコン設置 6年 ことばと発達のサポートルーム 「ほっと」へ名称変更 がん教育授業公開 体育館エアコン設置 防災用折りたたみヘルメット配備 7年 モジュール学習開始 子供の読書活動[優秀実践校]文 部科学大臣表彰受章	
	「かしこく、やさしく、たくましい子ども」の育成			
学校の特色	教科等の名称		理科・音楽・図工・総合的な学習の時間	
	1「特色ある教育二本柱」の充実 ①情操教育の推進 ○音楽活動・美術教育・豊かな自然環境・読書活動を中心とした情操教育 ②特別支援教育の推進 ○通常学級、特別支援学級、ことばの教室の機動的な連携 ○ふじざくら支援学校のセンター的機能の活用 ○ユニバーサルデザインを取り入れた学級経営 2 学校不適応児童の解消 ①自己肯定感の醸成 ○全学級における自己肯定感を高める取り組みの推進 ○コンプリメントの積極的な導入 ②親和的で安心できる居場所づくりとなる学級づくり ○自他受容や自他理解を図る取り組みの推進 ○「優しい言葉」で溢れる取り組みの推進 3 プレゼンテーション力の育成 ①構成力(伝える内容を考える力) ②表現力(伝わりやすい資料を作る力) ③説得力(聞き手に訴えかける、伝える力)			
内容等 の研究 指定校	教育指定校等の名称		なし	
研究主題	指定区分		領 域	全領域
	「主体的に学ぶ児童の育成」 ～学習者を主体とした授業作りを通して～			



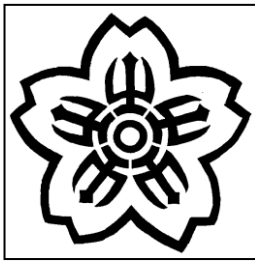
学校名：富士吉田市立下吉田東小学校
 所在地：富士吉田市下吉田 9 丁目 2 1 番 1 号
 TEL：0555（23）7831
 FAX：0555（23）7839
 校長：渡邊 ひとみ 教頭：佐藤 弘章

主な沿革	昭和49年 9月	校舎建設の起工式	25 年 7 月	防犯カメラシステム設置
	51年 3月	校舎落成式開校式	26 年 6 月	校門前進入路 白線・グリーン帯設置
	53年 3月	屋内体育館竣工	27 年 8 月	東児童トイレ改修工事完了
	8月	プール竣工	28 年 4 月	県道徳教育研究推進校 指定
	60年 7月	開校10年記念行事開催	29 年 12 月	教材室仕切り壁設置工事
	61年10月	団体花壇コンクール市内最優秀校受賞	31 年 1 月	管理棟防水塗装工事
	12月	国体花壇コンクール県奨励賞受賞	令和 1 年 7 月	前庭アスファルト舗装工事
	62年11月	ふるさとづくり第5回花いっぱいコンクール奨励賞受賞	8 月	児童棟 1 年から 4 年教室、ひまわり教室 建具鍵付け工事
	平成 6年 4月	文部省・県教委指定「生活科教育校」	7 月	モニターラック取り付け(BIG PAD)
	10月	文部省・県教委指定「生活科教育推進校」公開研究会	8 月	給食用冷蔵庫入れ替え
	9年 5月	屋内プール完成・竣工式	11 月	階段手摺かさ上げ工事完了
	13年 2月	交通安全功労団体表彰受賞	12 月	特別教室、5 年、6 年教室建具取り換え
	4月	山梨県ボランティア活動普及協力校指定校	2 年 2 月	防犯カメラ設置
	15年 1月	交通安全教育活動優良団体表彰受賞	2 月	式典用立て看板作成
	4月	県教委指定「地域を育てる環境活動推進事業」指定校	3 月	エアコン設置工事完了
	17年 4月	「心に元気をはぐむ道徳教育推進事業」指定校	3 年 3 月	教室棟 3 階 English room の普通教室への改修工事
	2月	太陽光発電システム設置(市モデル事業校)	8 月	児童棟 3 階普通教室換気扇工事
	19年 3月	エリア・サイレン設置	10 月	児童棟 1 階塗装ボランティア PTA 奉仕作業
	21年 4月	県教育委員会「やってみよう外国語活動」研究指定校	4 年 2 月	体育館自動水栓手洗い設置
	23 年 3 月	新体育館完成・落成式	5 年 3 月	図書館椅子・ソファ張替、ミニファブリックパネル設置
24 年 1 月	校舎 2,3 階転落防止用手すり設置	6 月	グラウンド放送設備改修工事	
		8 月	児童棟・管理棟廊下 LED 照明増設	
		6 年 9 月	防災用折りたたみヘルメット配備	
		7 年 1 月	体育館照明 LED 化	
教育目標	基礎学力があり、心身ともに健康で情緒に富む人間性豊かな児童の育成 ○自ら学び、よく考える子ども ○助けあう子ども ○最後までやりぬく子ども ○からだを大切にすること			
学校の特色	教科等の名称	特別活動，総合的な学習の時間，生活科，音楽科，社会科，		
	人権教育や道徳教育を進めながら心の教育を補完し，学校生活をより潤いのあるものにしていけるよう，児童の感性を豊かに育てる情操面の活動を充実させていく。また，地域人材の活用と体験活動を通して，児童のより豊かな人間性の醸成に取り組む。 ①地域交流推進事業・すずかけ交流集会 地域との交流活動 ②富士山教育推進事業・富士山学習 富士山教育に関わる校外学習 郷土学習 ③音楽教育推進事業・和楽器指導(箏体験教室) 合唱指導 金管バンド活動 ④キャリア教育推進事業・職業観や生き方を学ぶ地域人材の活用			
の教育指定校等の研究内容	教育指定校等の名称	なし		
研究主題	「今日的課題に対して主体的・実践的に学ぶ」 ～教師のウェルビーイング向上と力量形成・子供たちへのよりよい教育をめざして～			



学校名：富士吉田市立明見小学校
 所在地：富士吉田市小明見1丁目4番6号
 TEL：0555(22)0425
 FAX：0555(22)0537
 校長：加々美 正孝 教頭：宮下 正子

主 な 沿 革	明治 6年	大明見慈光院を仮校舎として明見学校として開校(10月)	平成12年	1号館校舎改築工事完成(8月)
	7年	小明見西方寺及び古屋万年寺を仮校舎として湖明見学校として開校10月	13年	2号館耐震工事(8月)
	8年	大明見・小明見合併により、両校合併、明見学校と称し、西方寺を仮校舎として開校(8月)	14年	日本PTA優良PTA団体表彰(11月)
	9年	現在地に新校舎起工	17年	交通安全優良校全国表彰(1月)
	10年	開校式挙行(9月)	19年	優良PTA文部科学大臣賞受賞(1月)
	大正 3年	高等科に第3学年を置く(4月)	20年	プール屋内壁面全塗装工事(2月)
	5年	帽章制定(11月)		文科省「学校支援地域本部事業」モデル地区として市指定(3年間)
	昭和16年	明見村立明見国民学校と改称初等科高等科、特修科を置く(4月)	22年	勤労生産学習推進校の指定
	22年	明見村立明見小学校と改称するが町政施行にて明見町立明見小学校となる(4月～5月)	23年	屋内運動場完成・落成式(3月)
	26年	市制施行で富士吉田市立明見小学校となる(3月)	25年	太陽光パネル設置(2月)
	35年	校歌制定(9月)	26年	大雪につき6日間臨時休業(2月)
	52年	開校100周年記念式典挙行(11月)	28年	全国小学校管楽器合奏フェスティバル東日本大会出場(2月)
	63年	文部省道徳教育推進校中間発表会開催(11月)		山梨県数学教育研究南都留大会公開授業(11月)
	平成元年	道徳教育研究発表全国公開(10月)		職員室、図書館 ^へ レットストーブ ^を 設置
	7年	屋内プール新設(3月)	30年	小中合同持久走大会実施(10月)
			令和元年	初任者研修会授業実習校指定
	教 育 目 標	一、自分と同じようにみんなを大切にすること		
二、人間らしい温かい心を持った子ども				
三、いつも元気で明るい子ども				
四、ものごとを正しく見、考え、工夫し行う子ども				
学 校 の 特 色	教科等の名称	各教科、総合的な学習、特別活動		
	①児童自ら問い自ら問題解決する学習者主体の授業の実施			
	②児童が自他のよさを認め協同して行動する学校行事、児童会活動、学級活動の実施			
	③小中連携による学校行事、児童会活動の実施			
	④地域の教材や人材を活用した地域学習の実施			
の教 育 指 定 校 等	教育指定校等の名称	なし		
研 究 主 題	指定区分		領 域	全領域
	自己調整しながら主体的に学ぶ児童の育成 ～他者との関わりを自己調整の手がかりとして～			



学校名：富士吉田市立吉田小学校

所在地：富士吉田市上吉田5丁目1番1号

TEL：0555（22）0266

FAX：0555（22）0271

校長：梶原 壮史 教頭：篠原 洋哉 三浦 知晴

主な沿革	明治 6年 地蔵寺本堂を使用して上吉田学校と称す。上吉田213に新築移転。 7年 上吉田・新屋・松山の三村合併。松山学校を併せ福地学校と称する。新屋学校は、従前どおり。 20年 小学校令改正。新屋学校廃止。福地尋常小学校と改称。 25年 小学校令改正。修業年限4ヵ年の福地尋常小学校をおく。新屋には、別に尋常小学校をおく。 11月には、高等科を併設し吉田尋常小学校とする。 昭和10年 新屋小学校を併せ現在地に移転。 16年 吉田国民学校と改称。 22年 吉田小学校と改称。 36年 プール設置。 50年 体育館完成。 63年 新校舎完成。 平成 4年 校舎増築完成。 6年 屋内プール完成。 13年 市立病院内に分校として院内学級開設。	15年 校舎増築完成。 20年 早寝・早起き・朝ご飯学校賞受賞。 22年 防犯カメラ設置 25年 新体育館完成 二宮尊徳像寄贈による再設置 26年 校庭防球ネット設置 27年 太陽光パネル設置 28年 トイレ改修 29年 グランドバックネット設置 令和 1年 空調機（エアコン）教室配置 2年 グランド照明設備工事 換気扇取付工事(1～3年) 3年 受水槽改修工事 RAN配線整理業務 4年 創立150周年 管理棟外壁改修工事及び内装工事 5年 グランド入り口土地改良工事 外国語室クーラー設置工事 6年 防災用折りたたみヘルメット配備 7年 体育館空調設備工事 体育館照明LED化工事		
	校訓「富士山ノ如ク 雄大尊厳ナレ。 富士山ノ如ク 確固不動ナレ。 富士山ノ如ク 純良潔白ナレ。」 学校教育目標 ・よく考え学び合う子 ・思いやり認め合う子 ・健康できたえ合う子 「わかる授業 たのしいクラス 子どもが育つ学校」			
学校の特色	教科等の名称	全人教育		
	① 創意ある教育活動の推進（学力向上、家庭学習の充実、実践的な研究など） ② 富士山教育の推進（富士山教育の日、授業の公開など） ③ 情操教育の推進（読書活動、音楽活動、早寝・早起き・朝ご飯運動など） ④ 体力の向上と楽しい体育・スポーツ活動・食育の推進（縄跳び運動など）			
教育指定校等の研究内容	教育指定校等の名称	なし		
研究主題	指定区分	自主研修	領域	全教科
	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な授業を目指して ～課題解決型の授業実践を通して～			



学校名：富士吉田市立吉田西小学校

所在地：富士吉田市新西原3丁目 7番1号

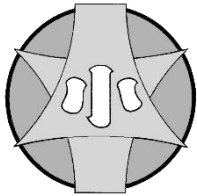
TEL：0555（24）0305

FAX：0555（24）0308

校長：井上 信子

教頭：山本 健一

主 な 沿 革	昭和53年	吉田小学校の分離校として設置され、開校する。	平成16年	体育館緞帳新調
	昭和54年	体育館落成・プレハブ校舎3教室完成	平成18年	西小の児童を守る会発足
	昭和55年	増築校舎（4教室）	平成19年	学校創立30周年記念式典
	昭和56年	西側増築校舎完成（図工室・音楽室・普通教室2）	平成21年	太陽光発電所開設
	昭和57年	校門（正門・西門）落成	平成22年	児童用パソコン入替え LAN工事終了
	昭和60年	飼育舎（小鳥小屋）完工 バックネット工事完了	平成24年	3月・新体育館完成
	昭和62年	教室棟屋上全面防水塗装工事完了	平成25年	校庭スピーカー増設
	昭和63年	体育館渡り防雪屋根設置	平成26年	プールガラス取替車椅子用スロープ増設
	平成 1年	プレイルーム完成	平成27年	グラウンド北側の防球ネット完成
	平成 3年	校舎東側フェンス取り付け	平成28年	学童と放課後子ども教室，特別支援教室の改修工事
	平成 5年	コンピュータ15台設置	平成29年	児童用トイレデザイン画完成
	平成 7年	体育用具用倉庫（1輪車）設置 パソコン教室空調設備設置	平成30年	ビッグパット導入
	平成10年	上屋付きプール竣工	令和 元年	体育館警備機器・職員室非常通報装置設置
	平成11年	文部省教育課程研究指定校	令和 2年	校舎内高速LAN整備、タブレット配置
	平成12年	文部省教育課程研究指定公開研究発表会	令和 3年	校庭フェンス増設
	平成15年	校庭に大時計設置	令和 4年	多目的室前バリアフリー工事
	教 育 目 標	○自ら学び、深く考える子ども。 ○思いやりがあり，みんなと仲良くできる子ども。 ○心も身体もたくましい子ども。 「子どもに自信・保護者に安心・地域に関心」をめざし「気づく力・伝える力・高める力」の育成		
学 校 の 特 色		教科等の名称	全人教育	
の 教 育 指 定 校 等 の 研 究 内 容		① 確かな学力の育成(日々の授業改善・新西小スタンダードをもとにした児童主体の授業づくり・ICT器機の有効的活用) ② 豊かな心の育成(読書活動の充実・道徳教育の充実・一人一人の良さを引き出す学級経営) ③ 健やかな体の育成（年間を通した縄跳び運動による体力の向上・早寝早起き朝ご飯の推進による望ましい生活習慣の定着) ④ 地域、家庭との連携（西っ子サポーターの充実・学校開放による地域への発信・キャリア教育の実施)		
		教育指定校等の名称	なし	
	研 究 主 題	「気づく力・伝える力・高める力」の育成 ～新・西小スタンダードに基づいた，個別最適な学びと協働的な学びを取り入れた学習を通して～		



学校名：富士吉田市立富士小学校
 所在地：富士吉田市上暮地一丁目2番1号
 TEL：0555（22）3544
 FAX：0555（22）3570
 校長：堀内 ちえ 教頭：原田 尚子

主な沿革	昭和 35 年 1 月	旧西桂町上暮地地区は富士吉田市に分町合併	平成18年 4 月	平成18・19年度文科省『児童生徒	
	昭和 35 年 3 月	富士吉田市公民館において開校式を挙行		徒	
	昭和 36 年 5 月	新校舎落成式、校旗制定校歌発表【学校記念日】	平成18年11月	の心に響く道徳教育推進事業』の指定を受ける	
	昭和 37 年 3 月	管理棟落成	平成19年 4 月	ビオトープ完成	
	昭和 40 年 7 月	校門完成 給食庫完成	平成20年 9 月	エリアサイレン設置	
	昭和 41 年 7 月	プール完成	平成23年 3 月	富士吉田市放課後教室開設	
	昭和 44 年 11 月	下の水、不動前地区を下東小との複合地区に指定		新体育館竣工・創立50周年記念式典	
	昭和 45 年 8 月	校地拡張 1.771 m ²	平成24年 3 月	太陽光発電設備完成・稼働	
	10 月	実験学校公開	平成25年 5 月	勤労生産学習推進校指定	
	昭和 48 年 3 月	屋内体育館落成	平成28年 8 月	校舎トイレ改修、オープン絨絨張替	
	昭和 55 年 11 月	体育研究公開授業	平成29年 9 月	相談室拡張工事	
	昭和 59 年 5 月	新採用教員実習校	平成30年 7 月	LAN改修工事（全教室）	
	昭和 61 年 4 月	『たくましい心を育てる』実験校の指定を受ける	平成31年 3 月	児童下駄箱一部撤去	
		管理棟・特別棟落成	令和元年 7 月	大型電子黒板・タブレット導入	
	教育目標	昭和 62 年 3 月	公開発表	令和 2 年 2 月	普通教室エアコン設置
10 月		普通教室棟 12 教室改築落成	9 月	児童棟 1 階手洗い場設置	
昭和 63 年 4 月		パソコン教室設置	令和 3 年 2 月	1～3 年教室換気扇設置	
平成 7 年 3 月		屋内プール完成及び竣工式	令和 4 年 3 月	一人一台端末導入および端末用校内無線LAN設置	
平成 10 年 3 月		屋内プール用温水器の設置		図書館椅子張り替え	
平成15年 8 月		児童棟一階絨毯張り替え	令和 5 年	ファブリックボード設置	
平成16年 9 月		保健室エアコン設置	令和 6 年 3 月	教室棟廊下張り替え	
		体育館絨絨張り替え	9 月	受水槽等取替	
				防災用折りたたみヘルメット配備	
		○ふれあいで育てる豊かな心			○自己を広げて育む自立の力
		・心をこめて、あいさつする子ども			・よく考えて、進んで学ぶ子ども
		・思いやりがあり、仲良くする子ども			・ねばり強く、がんばる子ども
		・健康で、たくましい子ども			
学校の特色		教科等の名称		特別活動、生活科、音楽科、総合的な学習の時間 等	
		①心の居場所となる学級集団づくりを行い、いじめや不登校の組織的対応による未然防止、早期発見と早期対応に努める。			
	②自ら進んで考え、判断し、表現する力を育み、学び合いを通して、学ぶ意欲や学習方法を身に付け、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。				
	③あいさつを励行し、家族や地域の人とかかわり、地域の自然や文化とのふれあいを通して、豊かな心を育む。				
	④体育や体育的行事や休み時間等、学校教育活動全般で相互に関連させながら体力の向上を図る。				
	⑤一人一人の児童の実態に応じたきめ細かな指導を目指した特別支援教育の充実を図る。				
	⑥「生きる力」の育成を目指し、学校－地域－家庭が連携した教育課程の充実を図る				
教育指定校等の研究内容	教育指定校等の名称		なし		
研究主題	「確かな学力を身につけ、主体的に学ぶ児童の育成」 ～子ども主体の授業づくりを目指して～				



学校名：富士吉田市立下吉田中学校
 所在地：富士吉田市新町四丁目12番27号
 TEL：0555 (22) 0468 FAX：0555 (22) 0430
 校長：渡邊 正人 教頭：岩城 和人 高杉 廣張

主 な 沿 革	昭和22年4月 下吉田中学校として発足 昭和25年11月 優良施設校として 文部大臣より表彰 昭和26年3月 市制施行により市立下吉田中学校と 校名変更 昭和27年11月 校歌を制定し、発表 昭和28年12月 木造校舎5棟完成 昭和35年4月 上暮地地区生徒、学区変更により編入 昭和52年4月 本館鉄筋3階建校舎完成 昭和57年7月 旧木造校舎撤去完了 昭和59年3月 新体育館落成 昭和60年3月 南館鉄筋4階建校舎完成 平成3年8月 パソコン室設備設置完了 平成5年1月 李良枝コーナー設置 平成6年3月 プール解体及び跡地のグランド拡張 平成6年4月 屋内プール竣工 平成8年11月 創立50年記念式典挙行 平成10年7月 本館耐震工事着工 平成13年3月 市営住宅跡地の改修及び校庭工事完了 平成16・17年度 国立教育政策研究所より 生徒指導総合連携推進事業の指定 平成17年9月 体育館屋根塗装工事完了 平成17年11月 ソフトテニスコート完成 平成19年3月 普通教室ドア修繕工事 平成20年3月 桜苗木植樹（敷地内）		平成20年 「問題を抱える子ども等の自立支援事業」の 文科省・県教委指定協力校 平成21年6月 あじさい30本植樹（敷地内） 平成22年3月 トイレ修繕工事 平成23年9月 校舎屋上雨漏り修繕工事 平成24年10月 体育館天井修繕工事 廊下手すり設置 平成25年10月 新チャイム設置 平成27年3月 体育館放送設備工事 平成27年12月 正面玄関前ロータリー舗装工事 平成28年9月 校舎トイレ全面改修 ペレットストーブ設置（3F教室） 平成29年12月 体育館床全面修繕 平成30年10月 ペレットストーブ設置（2F教室） 平成31年3月 体育館屋根・天井・外壁塗装工事 令和元年5月 グランド東側コンクリート塀新設 令和3年2月 生徒一人一台タブレット端末整備 令和3年2月 大型壁掛け時計2台設置 令和3年11月 校長室・職員室・教室エアコン設置 令和4年5月 本館屋上補修工事 令和5年5月 本館3階ベランダ補修工事 令和6年1月 本館1年1・2組ロッカー改修工事 令和6年8月 体育館大型ロールスクリーン設置 令和6年9月 防災用折りたたみヘルメット配備 令和7年1月 校長室印刷室保健室LED照明工事 令和7年3月 防犯カメラ2台追加	
	1. 自ら学び自己文化が創造できる生徒（知） 2. 情操豊かでみんなのためになる生徒（情） 3. 強い意志と実行力を持つ生徒（意） 4. 心身ともに健康で明朗な生徒（体） 校訓 「克己復礼」 一私欲にうち勝ち、礼儀をふみ行うようにすることー			
教育 目 標				
学 校 の 特 色	教科等の名称		心を耕す読書活動・全校表現活動	
	1. 心を耕す読書活動の推進（心育タイムの推進） 2. 伝統である自主的活動の合唱活動の推進（合唱団活動・合唱タイムの推進） 3. 全校表現活動の推進（南中ソーラン・和太鼓演奏の推進と充実） 4. 富士山学習推進の一環としての自然環境学習の推進や地元での職場体験活動の推進 5. 環境教育推進の一環としてのリサイクル活動の推進（リサイクル日の推進） 6. 生徒の学習意欲を高める授業づくりの充実と家庭学習への支援（授業チェック表・中学生日記の活用） 7. 地域に根ざしたボランティア活動の推進（福祉ボランティア教育・地域清掃活動の推進） 8. 技術の向上と人間性の育成を目指した部活動の推進 9. QUやクラスルームソーシャルスキルを取り入れた学級集団づくりの推進			
の 教 育 指 定 校 等 の 研 究 内 容	教育指定校等の名称		なし	
研 究 主 題	研究主題：「主体的に取り組むことができる学習者を育てる」育てる ～個別最適な学び・協同的な学びの実践を通して～ 日比の教育活動において、話し合い活動や多様な他者と協働し、幅広い学び合い活動を通して互いの意見を交換し合い考えを深めさせる機会を設定したり、自己調整したりして学習を進める必要があると考える。それらを通し、生徒一人一人の関心や意欲を高め、粘り強く学習できる前向きな心を育てていきたいと考える。			



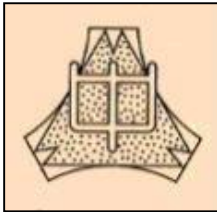
学校名：富士吉田市立明見中学校
 所在地：富士吉田市小明見一丁目4番14号
 T E L：0555 (22) 0184
 F A X：0555 (22) 0197
 校 長：加々美 竜也 教頭：入倉 裕司

主な沿革	昭和22年 3月31日 明見中学校を開校	平成16年11月28日 文科省指定・学力向上フロンティア公開授業
	昭和23年 5月 1日 町制施行	平成17年11月27日 心に元気をはぐくむ道德教育公開授業
	昭和25年 1月16日 明見町立明見中学校となる	平成20年12月 1日 文科省指定・学校支援地域本部事業（平成23年3月まで）
	昭和26年 3月20日 第一校舎（木造2階建）完成	平成23年 7月12日 県指定学力向上パノロトスクール事業（平成25年3月まで）
	昭和26年 市制施行	平成25年 9月 8日 体育館前客駐車場整備
	昭和26年 富士吉田市立明見中学校となる	平成26年 7月19日 トイレ全面改修
	昭和26年 校章制定	平成27年 2月 7日 旗掲揚ポール設置
	昭和30年 4月 3日 体育館兼講堂完成・校歌制定	平成28年 1月29日 体育館屋根及び外壁塗装工事
	昭和32年10月18日 学校創立記念日制定	平成29年 1月31日 校門前三角地駐車場整備
	昭和36年 5月15日 鉄筋校舎(3階6教室)完成	平成29年 3月24日 グラウンド照明塔改修
	昭和48年 5月30日 鉄筋校舎増築(3階6教室)完成	平成31年 2月17日 給食コンテナ室ドア改修
	昭和55年 2月29日 新校舎完成記念式	令和 2年11月22日 受水槽改修工事
	昭和58年 3月14日 屋内体育館落成式	令和 2年 2月 ICT関連事業により生徒一人一台クロームブック配布
	昭和62年 3月31日 テニスコート完成	令和 3年 6月 校舎長寿命化改修工事調査
	昭和62年 4月13日 文部省推進事業・自然教室指定校	令和 6年 2月 5日 校舎長寿命化改修工事開始
	昭和63年 4月 1日 文部省・県教委指定 道德教育（学校・家庭連携）に指定	技術棟・瞑想の丘
	平成元年10月12日 道德教育全国公开发表会	第1回引越し作業
	平成 2年 4月24日 武道場落成式	第2回引越し作業
	平成 2年11月29日 優良PTA文部大臣表彰授賞式	校舎完全引越し
	平成 8月12月12日 創立50周年記念事業	令和 6年 9月 防災用折りたたみヘルメット配備
	平成 9年 5月20日 屋内プール竣工式	令和 7年 2月 28日 体育館完成引き渡し
	平成16年11月28日 文科省指定・学力向上フロンティア公開授業	
教育目標	自主的で創造性に富み、知・徳・体の調和のとれた、心豊かでたくましく生きる生徒の育成を教育目標とし、「自主的に活動する生徒」「真 善 美」を掲げ、特に生徒の自治の力を育み、生徒が主体となった学校生活を推進するため、以下の教育目標を定めている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 心豊かで思いやりのある生徒 ・ 意欲を持って学びとる生徒 ・ 自己のあり方を見つめ、実践できる生徒 ・ 明朗でたくましく行動できる生徒 	
学校の特色	教科等の名称	特別活動・教科全般
	社会を生き抜くために集団としての規律と秩序を意識させ、生徒同士、教師同士、生徒と教師がお互いを尊重するため、常に次のことを心がける。 <ol style="list-style-type: none"> 1 わかる授業づくり 2 たのしいクラスづくり 3 子どもが育つ学校づくり 4 充実と実現を目指す進路学習 	
の教育指定校等の研究内容	教育指定校等の名称	なし
研究主題	主題	
	主体的に活動し、関わり合う生徒の育成 ～安心できる居心地の良い学級集団づくりを通して～	



学校名：富士吉田市立吉田中学校
 所在地：富士吉田市上吉田一丁目3番6号
 TEL：0555（22）0586
 FAX：0555（22）0541
 校長：村松 悟 教 頭：分部 勝規 佐藤 堤

主 な 沿 革	昭和 22 年	福地村上吉田中学校創立 吉田中学校開校	平成 19 年	校庭入口車進入止め全面改修
	昭和 23 年	校舎落成	平成 20 年	体育館照明工事
	昭和 26 年	富士吉田市立上吉田中学校と改称	平成 21 年	「問題を抱える子ども等の自立支援事業」 市研究協力校
	昭和 29 年	運動場スタンド完成	平成 22 年	職員室放送機器及び自動火災報知器設 備工事
	昭和 37 年	プール・4 階校舎落成	平成 23 年	チャイム機器入替設備工事
	昭和 38 年	校歌制定 発表会举行	平成 24 年	校内放送機器等設備工事
	昭和 44 年	第 1 期鉄筋 4 階校舎落成	平成 25 年	優良 P T A 文部科学大臣表彰
	昭和 57 年	文部省「機器利用英語教育研究」指定校	平成 26 年	体育館外壁・屋根塗装工事
	昭和 59 年	校庭拡張工事完成 木工・金工・図書・音楽室完成	平成 27 年	体育館吊り天井撤去工事 ペレットストーブ設置（校長室）
	昭和 61 年	屋内運動場改築完成 体育研究推進校研究公開	平成 28 年	教室床塗装工事 ペレットストーブ設置（4F 教室）
	昭和 63 年	格技場・体育倉庫完成	平成 29 年	トイレ改修工事
	平成 元年	校舎大改築工事着工	平成 30 年	体育館床全面塗装工事
	平成 2 年	新校舎・プール温水シャワー設備完成	令和 元年	1 年生教室ペレットストーブ入替
	平成 4 年	パソコン教室 和室「静思庵」完成	令和 2 年	各教室大型テレビ設置
	平成 5 年	「ボランティア協力校」厚生大臣表彰 和室南庭園造園	令和 2 年	日本 P T A 全国協議会会長表彰
	平成 8 年	屋内プール竣工	令和 3 年	全校 1 人 1 台 P C 端末導入 普通教室・職員室等エアコン設置
	平成 10 年	パソコン 4 0 台入れ替え	令和 4 年	優良 P T A 文部科学大臣表彰
	平成 12 年	和室南庭園垣根修繕工事	令和 6 年	防災用折りたたみヘルメット配備
	平成 15 年	校舎東側耐震補強工事		
	平成 18 年	格技場畳入れ替え 階段手すり設置		
教育 目 標	豊かな心，確かな知性を持ち，たくましく生きる人間の育成 1）自ら学び，学力を高める生徒 2）進んで実践し，責任を果たす生徒 3）助けあい，感動する心を持つ生徒 4）たくましく，健康的な生徒 5）世界に目を開く生徒			
学 校 の 特 色	教科等の名称		特別活動・総合的な学習	
	・総合的な学習を通して，地域の生活に関わる自然や文化・歴史に目を向けるとともに，富士山との結びつきについて学習していく。 ・特別活動などの時間を中心に合唱活動を積極的に取り入れ，歌声の響く学校をめざす。 ・全校教職員・生徒による朝の 1 0 分間読書の取り組みを通して，一日の学習に向かう環境をつくるとともに，心を耕す読書に力を入れている。			
の 教 育 指 定 校 等 の 研 究 内 容	教育指定校等の名称		なし	
研 究 主 題	自ら考え，表現し，意欲的に学ぶ生徒の育成 ～ 主体的・対話的で深い学びを通して ～			



学校名：富士吉田市立富士見台中学校

所在地：富士吉田市上暮地一丁目6番1号

T E L : 0555 (24) 0018

F A X : 0555 (24) 0042

校長：宮下 かほる 教頭：小塚 純

主 な 沿 革	昭和 55 年 鉄筋校舎建設工事着工 56 年 中学校建設条例改正 富士見台中学校設置を決議 (10 月 6 日を学校創立記念日とする) 56 年 校歌(歌詞), 校章決定 57 年 鉄筋三階校舎完成 落成式 58 年 屋内体育館完成, プール完成 59 年 鉄棒設置(校庭) 60 年 バックネット裏スタンドとトイレ完成 62 年 体育館前 部室完成 平成 元年 グラウンド排水溝完成 3 年 視聴覚教室コンピュータ設置完了 4 年 文部省指定「中学校生徒指導総合 推進校」全国公開 10 年 室内プール竣工式 テニスコート設置(旧プール跡地) 11 年 体育館屋根防水工事完成 15 年 パソコン教室パソコン設置工事 18 年 防犯カメラ設置 19 年 文部科学省指定「児童生徒の心に 響く道徳教育推進事業」全国公開 20 年 パソコン教室パソコン入替工事 24 年 屋内体育館絨帳取替・屋上防水工事	26 年 屋内体育館外壁・屋根塗装工事 27 年 子どもの読書活動優秀実践校・文部 科学大臣表彰 校長室ペレットストーブ設置 28 年 2, 3 年教室ペレットストーブ設置 29 年 トイレ改修工事, 1 年 1 組, 図書館 ペレットストーブ設置 30 年 校門脇外灯設置 体育館への渡り廊下屋根塗装完了 令和元年 電子黒板・タブレット導入 2 年 NIE実践指定校〔～R3 年〕 3 年 職員室照明 LED 化・電話拡張工事 高速 LAN・一人一台タブレット導入 4 年 体育館渡り廊下照明設置 体育館改修工事(天井・床・壁) 特別支援教室・学習室間仕切り設置, エアコン設置, 図書室, 1 年教室, 特別支援教室照明 LED 化 5 年 グランド砂場整備 6 年 体育館バドミントン支柱用支え取付 バスケ部からバドミントン部に変更 プールを解体し駐車場を整備 美術室・理科室照明 LED 化 防災用折りたたみヘルメット配備
	教育 目 標	自ら学び、自ら考え、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成 「富士のごとく雄大尊厳なれ」 ・学習意欲を持ち、向上心あふれる生徒 ・思いやりがあり、協力できる生徒 ・規律ある行動をとれる生徒 ・自己の責任を果たせる生徒 ・心身ともにたくましい生徒 ・郷土を愛し誇りを持つ生徒
学 校 の 特 色	教科等の名称	心の教育・学力の向上
	①生徒や地域の実態に即した教育課程の作成, 実施, 評価(授業研究の充実, 富士山教育, 読書活動, 地域学習, 小中連携, 英語教育の推進) ②基礎基本の定着と学習意欲の喚起(学力の日, 全職員による家庭学習の支援, 自主学タイム, 探究的な学習の時間, 授業規律の確立, ICT の活用) ③心の教育の充実(道徳教育の充実, 小学校との連携, SC や SSW との連携) ④積極的な生徒指導と望ましい集団づくり(全職員による指導体制, 各種行事による縦割り集団づくり, 親和的な学級集団づくり, 合唱タイム, 他機関・地域・保護者との連携, 日常生活の充実) ⑤健康安全教育の充実と体力向上(保健教育, 防災・安全教育, 部活動の充実) ⑥特別支援教育の充実(個の実態に応じた支援と達成感や自己肯定感が得られる支援) ⑦地域, 保護者との連携(学校開放, 授業参観, 地域活動への参加協力, 各種たよりによる啓発) ⑧学校環境の整備充実(修繕箇所の早期補修, 美しく, 豊かな教育環境の整備)	
の 教 育 指 定 校 等 の 研 究 内 容	教育指定校等の名称	なし
主 研 究 題	「小規模校の特性を生かした個別最適な学びと協働的な学びの創造」 ～探究的な学習の充実と道徳教育の推進を目指して～	

<学校給食センター>

1 学校給食センターの沿革

本市の学校給食は、昭和 23 年 4 月の下吉田小学校のミルク給食から始まり、完全給食は下吉田第一小学校を対象に、同校給食調理場において、昭和 38 年 3 月に開始されました。昭和 40 年 6 月までには、市内 3 ヶ所に単独調理場、1 ヶ所に共同調理場が設置され、市内全校へ学校給食が提供されるようになりました。

その後、児童・生徒の増加により新設学校の開設や、各調理場の老朽化を解消し、集中管理による合理化を図るため、昭和 59 年 10 月に大明見地区に最新調理機器を導入した学校給食センターを新設整備しました。同年 11 月 26 日から平成 28 年 11 月 30 日まで、30 年以上稼働させて参りましたが、設備や調理機器の老朽化が著しくなり、また、平成 21 年に改訂された文部科学省の「学校給食衛生管理基準」を満たす給食施設を整備する必要性もあったことから、平成 28 年 11 月にドライシステムを導入した新たな学校給食センターを小明見地区に竣工し、同年 12 月 1 日より供用開始となり現在に至っております。

現在の給食センターの特徴としましては、食物アレルギーに対応した専門調理室の整備や、災害時には炊き出しの拠点としても機能することができる施設を備えたものとなっています。また、平成 28 年 11 月から、調理及び配送等の業務を民間会社に委託しており、今年度、公募型プロポーザル方式により、第 4 期目の委託業者の選定を行い、現在 63 名が給食センターで業務に従事しております。

2 学校給食センターの概要

住 所	富士吉田市小明見三丁目 6 番 1 号		
敷 地 面 積	4, 8 4 6 m ²		
延 床 面 積	3, 4 9 8 m ² 鉄骨造 2 階建		
調 理 能 力	一日あたり 約 5, 0 0 0 食		
現在の調理数	一日あたり 約 4, 0 0 0 食		
調 理 対 象	小学校：7 校	中学校：4 校	保育園：5 園
職 員 数	事務職員	4 名	
	栄養士・栄養教諭（県派遣）	4 名	
委託業者人数	業務責任者等	2 名（副責任者含む）	
	調理従事者	3 6 名（パート従業員含む）	
	配送員・ボイラー技師・清掃員	1 7 名（パート従業員含む）	
	総 計	6 3 名	R 7. 5. 1 時点
調 理 機 器	連続炊飯機、連続焼物機、連続揚げ物機、急速冷却冷凍機、真空包装機等		
洗 浄 機 器	食器（籠ごと洗浄機）・食缶、コンテナ洗浄機等		
消 毒 機 器	熱風消毒保管庫、吊天井式コンテナ消毒保管庫等		
車 両	給食配送車	7 台、ゴミ配送車	1 台（リース）

給食費の変遷

(円)

年度 区分		S51～ S54.9	S54.10～ S63	H元～ H3	H4～ H24	H25～ R6	R7.4～
小学校	年 額	26,000	31,000	32,000	42,000	48,000	57,000
	日 額	130	160	170	210	240	285
中学校	年 額	30,000	34,000	36,000	47,000	53,000	64,000
	日 額	150	180	190	235	265	320

※令和元年10月1日から児童及び生徒の給食費を無償化

児童・生徒・園児数

(令和7年5月1日現在の給食喫食者数)

学 校 名	学 級 数	児童・生徒・ 園 児 数	教 職 員 数	人 数 計
下 吉 田 第 一 小 学 校	6	93	19	112
下 吉 田 第 二 小 学 校	18	430	49	479
下 吉 田 東 小 学 校	11	247	27	274
明 見 小 学 校	16	335	33	368
吉 田 小 学 校	22	531	42	573
吉 田 西 小 学 校	14	317	34	351
富 士 小 学 校	6	94	19	113
小 学 校 計	93	2,047	223	2,270
下 吉 田 中 学 校	13	407	36	443
明 見 中 学 校	6	181	22	203
吉 田 中 学 校	13	418	47	465
富 士 見 台 中 学 校	3	46	17	63
中 学 校 計	35	1,052	122	1,174
第 一 保 育 園	—	58	19	77
第 三 保 育 園	—	82	23	105
第 四 保 育 園	—	83	24	107
第 五 保 育 園	—	61	21	82
第 六 保 育 園	—	65	20	85
マ ザ ー ズ ホ ー ム	—	12	10	22
保 育 園 計	—	361	117	478
セ ン タ ー 職 員 他			59	59
合 計		3,460	521	3,981

年度別平均給食回数

※各年度基本予定平均回数(回)

年度 区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
小 学 校	190	188	190	193	193	193	193	192	191	190	191	187
中 学 校	182	182	184	186	187	188	186	187	184	185	186	182
給食センター	198	197	197	199	198	200	200	199	199	198	197	199
保 育 園	230	230	230	230	215	230	213	208	207	210	211	210

年度別総給食数

*各年度予定食数(食) 人員は5月1日実数

年度 区分	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1
小 学 校	543, 210	516, 248	520, 030	503, 344	491, 185	482, 307
中 学 校	286, 650	286, 468	277, 656	276, 954	258, 995	259, 064
給食センター他	8, 898	8, 934	8, 757	12, 935	12, 870	11, 800
保 育 園	141, 220	138, 000	140, 990	144, 900	134, 590	141, 220
計	979, 978	949, 001	947, 433	938, 133	897, 640	894, 391
年度 区分	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
小 学 校	477, 096	460, 608	452, 479	439, 660	438, 918	424, 490
中 学 校	243, 288	244, 596	237, 728	230, 695	220, 968	213, 668
給食センター他	12, 600	11, 940	12, 338	11, 088	10, 441	11, 741
保 育 園	119, 919	113, 776	102, 051	101, 640	103, 390	100, 380
計	852, 903	830, 920	804, 596	783, 083	773, 717	750, 279

※ 「給食センター他」には、給食センター職員ほか、調理及び配送等業務委託事業従事者の食数を含む。

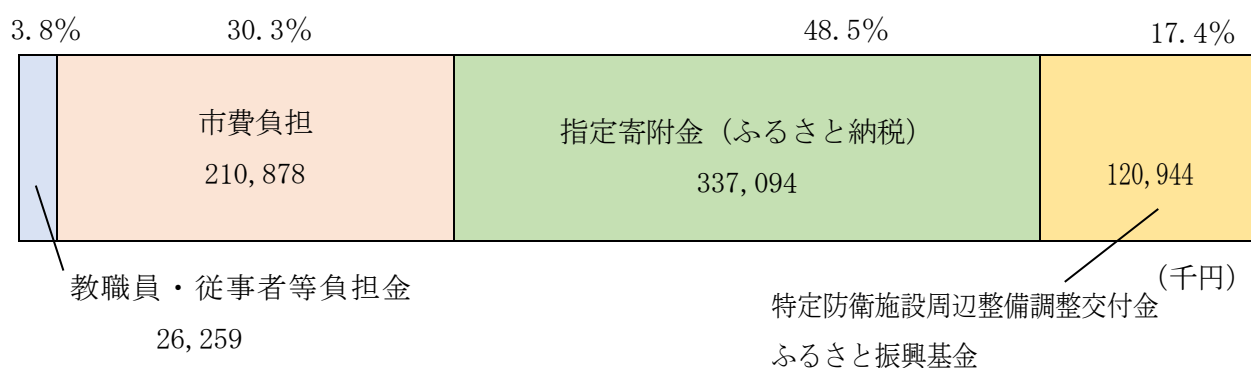
3 学校給食センターの運営について

(1) 経 費

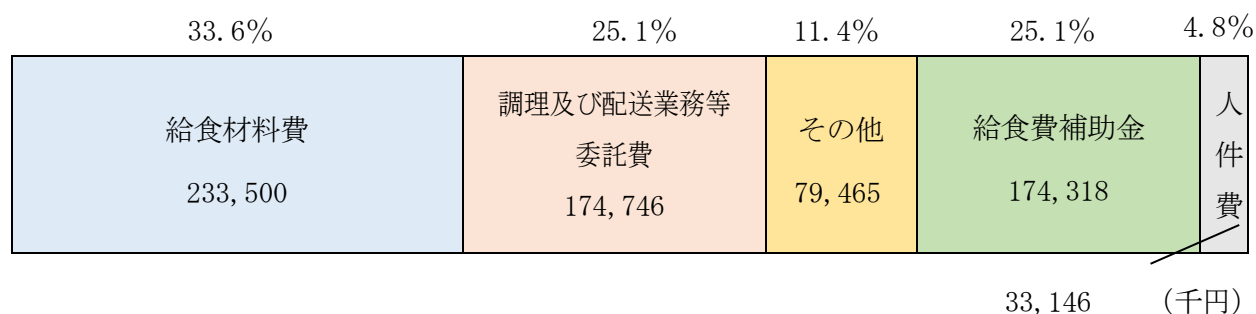
学校給食にかかる費用は、令和元年 10 月 1 日から開始した市立小中学校に在籍する児童・生徒の学校給食費無償化に伴い、賄い材料、人件費及びその他（消耗品・光熱水費等）の運営に係る費用を公費で負担しております。

令和 7 年度については、引き続き賄材料費や光熱水費などの価格高騰を考慮し、前年度予算と同等の 695,175,000 円の支出を予定しています。

(財 源)



(経 費)



(2) 運 営

平成 28 年 11 月の富士吉田市学校給食センター竣工に伴い、調理及び配送等の業務を民間会社に委託し運営を行っております。民間委託したことにより、安定した人員確保が可能となったほか、衛生管理の徹底や業務の効率化が更に図られています。また、地域の雇用促進にも寄与しています。

現在の施設では、食物アレルギーに対応した専用調理室を整備し、保護者、学校、調理従事者と綿密な情報交換を行い除去食や詳細な献立対応食の提供を行っています。

また、災害時には炊き出しの拠点として機能が果たせるよう、備蓄品の管理、機器の整備を行っています。

今後も本市の子どもたちが、健やかに成長し、食に関する正しい知識を養うことができるよう、創意工夫を凝らし、安心・安全で魅力ある給食を提供して参ります。

<生涯学習課>

1 基本方針

近年は健康寿命への関心や充実した人生（時間）を送りたいというニーズが高まる中、すべての市民が生涯のあらゆる時期に、自主的に学習を進めることができるよう、生涯学習環境の整備と学習推進を図る。また、学習活動を充実するために近隣町村や民間事業者との連携、ボランティアスタッフの確保・育成に努めていく。

更に、近年余暇時間の充実や生活水準の向上により健康で生きがいのある生活を送りたいという人々が多くなっている。その影響もあり、スポーツ人口が増加し、またスポーツ内容が多様化する傾向にある中、現有体育施設の有効的な活用を図るとともに、住民のニーズに応じた各種スポーツ教室の開催、各種スポーツ大会の充実及び指導者の養成に努め、時代に即応したスポーツ振興を図る。

2 重 点

市民の学習ニーズに的確に対応するため、大学高等教育機関や民間教育事業者、企業の人材や学習資源を活用しながら豊かな学習機会の確保に努めるとともに、市民自身の学習意欲と自由な創意・工夫を生かした学習活動を支援促進する。また、単に学習だけでなく、その学習過程を通じて地域社会の発展、コミュニティ形成、人と人との絆や繋がりが生まれるような事業を展開することで、「住み続けたいまち ふじよしだ」の実現を図る。

（1）事業体制

現在、社会教育主事、社会教育指導員、青少年育成カウンセラー、スポーツ推進委員等を設置し事業を展開している。

また、社会教育委員を委嘱・配置することで生涯学習事業全般に対する評価・検証等を図るなど時代のニーズに対応し得る体制となっている。さらには、各種事業に実行委員会や運営委員会を設置することで、市民目線の意見を集約することや市民自らが企画・運営等に参画できる体制整備を図っている。

（2）家庭教育による人づくり

市内保育園・幼稚園・小学校・中学校の親子を中心に家庭教育学級を開設している。核家族化や少子高齢化、共働き世帯の増加などにより親子が共有する時間が制限されてしまう現代社会において、子供の心身の発達・形成に重要な影響を与える家庭教育を推進する必要性は年々高まっている。さらに、ITなど情報化の発展により希薄化する人と人との直接的なつながりを充実するため家庭教育学級施策の推進を図る。

（3）青少年教育の学習環境づくり

多様な学習機会を提供し、地域文化の継承と創造、奉仕活動などをとおして、次代を担う青少年の健全育成に努めるとともに、よりよい学習環境づくりを行う。また、人間形成において

最も影響を受けやすい多感な時期に、生涯学習活動の中で多様な分野にチャレンジできる場を提供することで、個性豊かな人材育成につなげていく。

更に、文部科学省が奨励する小学生の放課後学習プランにおいては、余裕教室等を活用して子どもの居場所づくりを提供する「わくわく教室」を開設し、時代のニーズに対応した子育て支援・少子化対策にもつながる事業を展開する。

（４）生涯学習による生きがいつくり

長寿命社会となり日本人の平均寿命は男女とも 80 歳を超え、高齢者（65 歳以上）の方々への生きがいつくりは重要な施策のひとつである。山梨県は健康寿命も長く、健康で自立した生活を送れる方が多い地域であるが、これを維持するためにも、健康長寿課や福祉課などと連携し、集いの場の提供はもちろん高齢者による社会貢献・参画活動の支援が必要となる。生涯学習課においては、寿教室や社会学級等の生涯学習活動への積極的な参加を促進することで、教養を高めることはもちろん、高齢化社会の中でも生き活きとした元気な地域づくりを推進する。

（５）スポーツ振興による元気な地域づくり

市民生活が近代化・多様化することにより、スポーツへの関心・取り組みも多種多様である中、興味あるスポーツに触れ携わることができる機会・環境を創設し、市民の体力維持・向上を図るとともに、健全な青少年の育成や高齢者の健康増進につなげる。

また、市制施行以前から開催されている伝統イベントである『富士登山競走』は参加するだけでなく、イベントに携わることにより市民の富士山への愛着心を再確認するとともに、全国に向け「おもてな市富士吉田」を P R していく。

3 主たる事業計画

（１）生涯学習講座事業

生涯学習に係わる講演はもとより、児童中心の家庭教育学級や富士山ジュニアカレッジ、高齢者対象の寿教室、市民の学習意欲の向上を図る市民大学の開設など、幼児から高齢者まで誰もが気軽に参加できるような「生涯学習講座」の開設、推進を図る。

令和 7 年度事業計画

講座名	対象	主な内容	期 間
家庭教育学級	市内小中学校・幼稚園・保育園等の親子	親子による学習及び体験教室ほか	年 12 回教室
富士山ジュニアカレッジ	市内小中学生及び保護者	陶芸教室など全 22 教室	適時
富士の里市民大学	市民全般	健康・文化・歴史等幅広い分野の講座	月 1 回定期講座 年 3 回特別講座
中央社会学級	市民全般	親子造形教室など全 11 教室	適時

地区社会学級	地区住民	教室ごとに地区で開催。 16 地区 44 教室。	適時
成人学級	糸の会・寿町・竜ヶ丘の 3 地区 の成人 休会（新屋・小明見・向原・浅 間町）	地区ごとに、毎月異なる 講座を開催	6 月～2 月 毎月 1 回
寿 教 室	下吉田・上吉田・明見・上暮地・ 向原の 5 地区、65 歳以上の方	健康・運動・文化・交通 安全などの学習講座	4 月～3 月 毎月 1 回



（２）芸術文化活動事業

市民の文化意識を高め、心の豊かさを養うため、文化祭の開催や芸術文化活動の支援を行い、本市の芸術文化の振興発展を図る事業。令和 7 年度は下記の事業を計画する。

①第 73 回富士吉田市文化祭及び地区文化祭の開催

②芸術文化団体の活動支援



（３）青少年教育活動事業

次代を担う青少年のため、青少年育成カウンセラー、社会教育指導員などの関係機関と連携し、青少年の健全育成に努める。

①青少年育成地域会議の開催

②富士吉田市青少年育成会連合会の開催

③ミニバス・学童野球などスポーツ大会の開催

④ジュニアアウトドア体験（南都留地区市町村合同事業）の開催

⑤二十歳を祝う会の開催

⑥放課後子ども教室の運営

子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)づくりが求められている。そこで、放課後や休日等に小学校の余裕教室等を活用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取り組みを実施する。

《令和7年度 わくわく子ども教室》

日 程 5月～2月 各校 週1～2回 （年間2回土曜日特別教室開催）

場 所 下吉田第一小学校・富士小学校・吉田西小学校・下吉田第二小学校

※明見小学校は1ヶ月に1回土曜日または日曜日に開催



（4）スポーツ振興事業

①富士登山競走

富士登山競走は市役所を起点として、富士山頂までの21km、標高差約3,000mを走る日本一過酷と言われる山岳レース。昭和23年から続く歴史と伝統のある大会で、国内はもとより、海外からの参加者も多くみられる大会である。

第78回富士登山競走においては、ランナーの負担を考慮し、昨年まで実施していた前日受付を廃止する中で、大会を実施する。また当日は、閉会式会場である富士北麓公園において、地元企業による飲食ブースや、各種スポーツ用品の販売ブースが出店し、選手のみならず、市民やランナーの家族も「富士登山競走」を身近に楽しむことのできるスポーツイベントとして開催する。

大会名：『第78回富士登山競走』

実施日：令和7年7月25日（金）

参加者：○山頂コース 1,894名 午前7時00分 スタート

○五合目コース 1,850名 午前8時30分 スタート



②地元プロスポーツチームとの連携

山梨県を拠点に活躍する、ヴァンフォーレ甲府、山梨クィーンビーズ、F C ふじぎくら山梨、山梨ファイアーウィンズの公式戦を、本年も「富士吉田市サクスデー」として市内体育施設にて開催し、市民を無料招待することにより「みる」スポーツの充実を図る。また、市や（公財）富士吉田スポーツ協会が実施する各種イベント、運動教室等の講師協力依頼などを通じて、双方の持つ力を活かしたスポーツ振興と、市民とトップアスリートが交流できる機会の創出を図る。



③部活動スポーツ指導者派遣

中学校の運動部活動において、競技力向上のための指導については専門的な技術が必要であるとともに、年々そのレベルが向上している。

そこで、より専門的な技術を指導し競技力を高めるとともに、学校教育と社会体育の交流を図るため指導者を派遣する。

令和7年度派遣予定

下吉田中学校 陸上部

富士見台中学校 女子ソフトテニス部

④富士吉田市スポーツ大会出場激励金交付

スポーツに対する市民の関心と理解を深め、スポーツへの市民参加及び支援の促進を図るため、富士吉田市を代表してスポーツ大会に出場する個人及び団体に対して激励金を交付する。

⑤スポーツ推進委員活動

「富士吉田市スポーツ推進委員に関する規則」に定められた、スポーツ事業における指導及び市民のスポーツ活動の普及振興を図るという目的で、24名のスポーツ推進委員を委嘱している。

スポーツ推進委員は、生涯学習事業や各種団体の実施するスポーツイベントへの協力など、スポーツを通して市民のスポーツ活動の普及や体力向上に資する活動を行っている。また、県が主催する各種研修会等にも出席し、スポーツ推進委員としての資質向上を図っている。本年は、6月に本県において、関東スポーツ推進委員研究大会山梨大会が開催される。



⑥オリンピックムーブメント推進事業

JOCやフランスラグビー連盟等の継続的な連携を図りながら「オリンピックムーブメント」の推進を図り、スポーツ振興や地域活性化につなげていくことを目的として「富士吉田市オリンピックムーブメント推進事業実行委員会」を立ち上げ、「JOCオリンピック教室」や「トップアスリート招聘交流事業」等の関連事業を実施する。

4 所管施設

生涯学習課においては、下記の施設を所管し、安全・安心に市民の皆様等が生涯学習活動やスポーツ活動に利用できるよう管理運営を図っている。

《富士五湖文化センター・市民会館》

富士五湖文化センター・富士吉田市民会館は富士北麓一帯の文化活動の拠点である。

文化情報の発信基地、市民の文化学習の場である市民会館及び文化センターを効率的な管理運営を行い、地域住民の福祉の増進、文化の向上及び地域の発展を図る。

なお、令和4～令和8年度まで指定管理者の（一財）富士吉田文化振興協会が運営している。

所在地	富士吉田市緑ヶ丘二丁目5番23号
敷地面積	10,895.58㎡
建築延面積	7,289.50㎡（図書館含む）
構造	鉄筋コンクリート建
	会館棟 地上4階建
	ホール棟 地上4階建
起工	平成21年7月13日



完 工	平成 23 年 3 月 24 日
総 工 事 費	2,829,645 千円
文化ホール	大ホール 収容定員 802 席
	楽屋 4 部屋 (洋室 3 部屋・和室 1 部屋)
	リハーサル室 2 室
市 民 会 館	小ホール 収容定員 273 席 (移動観覧席 189 席)
	会議室 3 室 (30 席 2 室・24 席 1 室)
	市民ギャラリー 3 室 (各 30 席)
	和室 2 室 (各 21 畳)

《富士吉田市立青少年センター》

富士吉田市立青少年センターは、雄大な富士山麓の静かな美しい自然環境の中にあつて青少年やその指導者が団体で宿泊し、団体生活をしながら規律、協力、友愛及び奉仕の精神を養い、心身ともに健全な育成を図る。

なお、令和 3～令和 7 年度まで指定管理者の特定非営利活動法人 富士北麓まちづくりネットワークが運営している。

所 在 地	富士吉田市上吉田 4433-1
敷 地 面 積	13,172.00 m ²
建築延面積	2,469.39 m ²
構 造	鉄筋コンクリート
	地下 1 階 地上 2 階建
施 設 概 要	地階・レクリエーションホール



・大小浴場、シャワー、機械室

1 階・第 1～第 3 研修室 定員 40 名 (第 3 研修室にはピアノあり)

・食 堂 (定員 100 名)

・ロビー

・事務室

2 階・洋 室 6 室 各定員 8 名

・和 室 (各 28 帖) 2 室 各定員 20 名

・談話コーナー

付帯施設

・キャンプ場、キャンプファイヤー場

《体育施設・スポーツセンター》

鐘山スポーツセンター・笹子コミュニティスポーツ広場・みずほ公園スポーツ広場・大明見グラウンドについては、利用者の利便性を考慮したうえで、市民スポーツ・レクリ

エーションの活動拠点施設の整備に努め市民スポーツの振興を図る。

なお、令和4～令和8年度まで指定管理者の（公財）富士吉田スポーツ協会が運営している。

○鐘山総合体育館

構 造	鉄筋コンクリート造 3階建
敷地面積	12,987.50 m ²
建築面積	3,509.74 m ²
延 面 積	4,688.20 m ²
1階	2,411.46 m ² （アリーナ、役員選手控室、器具倉庫）
2階	1,665.74 m ² （事務室、トレーニングルーム、卓球場、スポーツ教室等）
3階	216.00 m ² （弓道場、選手控室）
利用種目	バスケットボール2面、バレーボール3面、バドミントン8面、 ハンドボール1面
観 覧 席	収容人員 1,563 席
総事業費	898,208,000 円
工 期	着工 昭和54年10月 竣工 昭和56年3月

○鐘山総合グラウンド・テニスコート

グラウンド	面積 19,493.74 m ²
利用面積	陸上競技（300mトラック）、野球2面、ソフトボール4面、 ラグビー1面、サッカー1面、その他
観 覧 席	収容人員 約4,000 人
照明施設	照明塔 7基 平均照度 200 ルックス
テニスコート	面積 2,976.74 m ² 砂入り人工芝コート 4面 照明塔 4基
管 理 棟	鉄筋平屋建 183.6 m ² （事務室、救護室、更衣室等）
総事業費	456,120,000 円
工 期	着工 昭和51年2月 竣工 昭和52年10月

○鐘山小体育館

構 造	鉄筋鉄骨造 2階建
建 築	面積 962.40 m ² 1階 619.53 m ² （アリーナ、器具庫等） 地階 342.87 m ²
総事業費	85,530,000 円
工 期	着工 昭和58年10月21日 竣工 昭和59年3月21日

○笹子コミュニティスポーツ広場

総面積 4,344 m²

スポーツ広場（砂入り人工芝） 2,691 m²

休憩棟（鉄骨平屋建て） 125 m²

コミュニティ広場 232 m²

照明塔 3基、 駐車場（乗用車 11台・駐輪場）

工期 着工 平成 11 年 4 月 竣工 平成 11 年 12 月

○みずほ公園スポーツ広場

グラウンド・コート（砂入り人工芝） 777.5 m²

照明塔 4基

総事業費 27,415,500 円

工期 着工 平成 17 年 10 月 竣工 平成 18 年 2 月

〈図書館〉

1. 市立図書館の沿革

富士吉田市立図書館の歴史は、昭和 25 年に旧下吉田町立公民館附属図書館として設置されたことに始まり、昭和 26 年の市制施行後、市立図書館となった。数回の移転後、昭和 45 年 12 月 富士吉田市民会館の落成とともに、同館一階に併設施設として移転。平成 23 年 3 月施設の建て替えに伴い、同地に新規開館。

2. 市立図書館の概要

- 所在地 富士吉田市緑ヶ丘 2 丁目 5 番 23 号
- 建物構造 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）、地上 4 階建のうち 1・2 階
- 面積 1,629.09 m²（1 階 892.71 m² 2 階 736.38 m²）
- 利用時間 (1)日曜日・水曜日・金曜日・土曜日・祝日
午前 9 時 30 分から午後 6 時まで
(2)火曜日・木曜日（祝日を除く）
午前 9 時 30 分から午後 7 時まで
- 休館日 (1)月曜日
(2)年末年始（12 月 29 日から翌年 1 月 3 日）
(3)月末休館日（月末の平日）
(4)特別整理期間（年間 10 日以内）



外 観



館 内

3. 基本方針

【コンセプト】暮らしの中に図書館を、市民の暮らしに役立つ図書館を

富士吉田市立図書館は、「図書館法」、「子供の読書活動の推進に関する法律」等に定められた基本理念をもとに、市民等が文化的でうまいのある生活を営むための情報や資料を提供している。

また、地域の発展に資するため、富士吉田市及び富士山の伝統と文化を受け継ぐ情報資産を蓄積・保存し、次世代に継承する使命を担っていることから、地域資料を積極的に収集、提供を行っている。

4. 令和6年度 運営状況実績

○開館日数・延べ入館者数

	令和6年度	令和5年度
開館日数	269 日	284 日
入館者数	138,181 人	147,732 人

○蔵書・貸出しの状況

分 野 別			令和6年度末蔵書		令和6年度貸出状況		
			蔵書数(点)	構成比(%)	貸出点数(点)	貸出比(%)	回転率(%)
図 書 資 料	一 般 書	0 総 記	5,173	1.99	3,560	1.20	68.80
		1 哲 学	7,178	2.76	7,320	2.46	102.00
		2 歴 史	13,927	5.36	14,675	4.94	105.40
		3 社 会 科 学	23,372	8.99	13,443	4.52	57.50
		4 自 然 科 学	10,867	4.18	9,952	3.35	91.60
		5 技 術	11,804	4.54	23,691	7.97	200.70
		6 産 業	4,347	1.67	5,156	1.73	118.60
		7 芸 術	16,229	6.24	17,271	5.81	106.40
		8 言 語	2,616	1.01	1,957	0.66	74.80
		9 文 学	57,925	22.28	48,302	16.25	83.40
		そ の 他	1,772	0.68	1,542	0.52	87.00
		一般書 計	155,210	59.71	146,869	49.41	94.60
	児 童 書	0 総 記	1,192	0.46	1,708	0.57	143.30
		1 哲 学	781	0.30	1,684	0.57	215.60
		2 歴 史	2,976	1.14	5,193	1.75	174.50
		3 社 会 科 学	3,423	1.32	2,840	0.96	83.00
		4 自 然 科 学	5,302	2.04	9,299	3.13	175.40
		5 技 術	2,081	0.80	3,474	1.17	166.90
		6 産 業	1,326	0.51	1,307	0.44	98.60
		7 芸 術	3,128	1.20	5,641	1.90	180.30
		8 言 語	1,238	0.48	1,404	0.47	113.40
		9 文 学	20,393	7.84	16,812	5.66	82.40
		絵 本	26,947	10.37	69,276	23.31	257.10
		紙 芝 居	1,485	0.57	2,283	0.77	153.70
		そ の 他	206	0.08	7	0.00	3.40
		児 童 書 計	70,478	27.11	120,928	40.68	171.60
	地 域 資 料		8,371	3.22	1,087	0.37	13.00
	図 書 そ の 他		7,269	2.80	1,548	0.52	21.30
	図 書 資 料 計		241,328	92.83	270,432	90.98	112.10
	雑 誌		13,662	5.26	9,954	3.35	72.90
	視 聴 覚 資 料	C D	3,613	1.39	8,940	3.01	247.40
		C T	7	0.00	0	0.00	0.00
		C D-R O M	3	0.00	0	0.00	0.00
		ビ デ オ	9	0.00	0	0.00	0.00
		生 涯 学 習	58	0.02	0	0.00	0.00
		D V D	1,230	0.47	7,923	2.67	644.10
		A V そ の 他	47	0.02	3	0.00	5.10
	視 聴 覚 計		4,967	1.91	16,866	5.67	339.60
	資 料 合 計		259,957	100.00	297,252	100.00	114.30

○貸出しの状況

・個人・団体

		令和6年度		令和5年度	
		貸出者数 (人・団体)	貸出点数 (点)	貸出者数 (人)	貸出点数 (点)
個 人		63,033	268,181	63,544	286,892
団 体 等	団 体	1,581	27,925	1,572	26,582
	他公共図書館	930	1,146	946	1,159
	団 体 等 計	2,511	29,071	2,518	27,741
合 計		65,544	297,252	66,062	314,633

・個人住所地別

		令和6年度		令和5年度	
		貸出者数 (人)	貸出点数 (点)	貸出者数 (人)	貸出点数 (点)
市 内		45,301	192,664	45,622	203,081
	県 内	16,409	70,143	16,586	78,519
	県 外	518	2,685	563	2,747
	市 外 計	16,927	72,832	17,149	81,266
不 明		805	2,689	773	2,545
合 計		63,033	268,181	63,544	286,892

・個人年齢層別

		令和6年度				令和5年度			
		人口※ (人)	貸出者数 (人)	人口比 (%)	貸出点数 (点)	人口※ (人)	貸出者数 (人)	人口比 (%)	貸出点数 (点)
個 人	未就学児(0～6歳)	2,114	1,544	73.0	7,715	2,226	1,901	85.4	11,006
	小学生(7～12歳)	2,146	4,085	190.4	23,118	2,198	4,428	201.5	23,802
	中学生(13～15歳)	1,199	657	54.8	2,556	1,228	782	63.7	3,155
	高校生(16～18歳)	1,200	639	53.3	1,884	1,246	666	53.5	2,252
	19～29歳	4,653	2,731	58.7	11,409	4,707	2,628	55.8	12,165
	30～39歳	4,682	8,365	178.7	43,422	4,755	8,927	187.7	47,108
	40～49歳	5,401	11,345	210.1	56,859	5,648	11,309	200.2	59,178
	50～59歳	7,091	10,128	142.8	37,331	7,122	10,842	152.2	43,502
	60～69歳	6,521	11,504	176.4	42,860	6,602	10,308	156.1	41,274
	70歳以上	11,465	12,035	105.0	41,027	11,294	11,753	104.1	43,450
個 人 計		46,472	63,033	135.6	268,181	47,026	63,544	135.1	286,892

※人口は4月1日時点の住民基本台帳による

○蔵書リサイクル数

	令和6年度	令和5年度
リサイクル	8,583 点	11,203 点

○羽田ブックプレゼント

	令和6年度	令和5年度
ファーストブック	231 人	250 人
セカンドブック	332 人	334 人
サードブック	369 人	398 人

○おはなし会

	対象	令和6年度	
ちいさいおはなしかい	未就園児	45 回	1,307 人
おはなしかい	幼児から小学校低学年	22 回	298 人
大人のためのおはなし会	高校生以上	4 回	52 人
出前おはなし会	幼稚園・保育園・小中学校等	112 回	2,666 人



○学習機会の提供

	対象	令和 6 年度	
職場体験	中学生	4 校	9 名
	高校生	1 校	3 名
図書館見学		6 団体	93 人

○各種イベント

内 容		回(日)数	参加者数	備考
市広報紙掲載企画	まちがいさがし	3 回	308 人	4～6 月
ロビーコンサート	共催：文化振興協会	12 回	526 人	4～12 月
こどもかい	人形劇、映画上映会	2 回	224 人	8・12 月
こども読書週間	おりがみプレゼント、 図書館キーワードラリー	20 日	565 人	4～5 月
読書週間	図書館 DE クイズ、おすす めの本を紹介してください	18 日	102 人	10～11 月
七夕	短冊飾り	9 日	292 人	6～7 月
お正月	としょかん DE 初もうで	23 日	776 人	1 月
工作教室	子ども向け	4 回	60 人	
	大人向け	1 回	15 人	
	誰でも	2 回	32 人	
防災イベント	防災クイズ 他	1 日	96 人	9 月
みんなでおりがみ	おりがみ	4 回	153 人	
絵本づくり	おやこでつくろう 世界で一つだけの絵本	1 回	11 人	
映画上映会	能登半島復興支援 チャリティ上映会	1 回	55 人	募金額 40,659 円
大喜利	図書館 IPPON	5 回	100 人	8～12 月
1 日館長	図書館 IPPON 最年少受賞者	1 回	1 人	1 月
杉山亮さんと 楽しむイベント	えんぴつゲーム ものがたりライブ	1 回	60 人	
資産形成セミナー	人生 100 年時代 お金の使い方	1 回	18 人	
ひとハコ図書館	利用者による本の展示ほか	4 回	4 人	

暑中見舞いを送ろう



工作教室



なつのこどもかい（人形劇）





杉山亮さんと楽しむイベント



クリスマスこどもかい（上映会）



おやこで絵本づくり



○放課後児童クラブとの連携事業

団体貸出実績（点）

団体名	あおぞら	おひさま	おひさま 2	おひさま 3	かぜのこ
令和 6 年度	0	1, 103	993	1, 290	1, 203
令和 5 年度	144	1, 394	1, 165	1, 243	1, 201

団体名	かぜのこ 2	かぜのこ 3	すみれ	すみれ 2	たけのこ
令和 6 年度	1, 199	70	963	1, 197	1, 200
令和 5 年度	1, 299	0	1, 207	1, 198	1, 207

団体名	つくしんぼ	どんぐり	ひまわり	ひまわり 2	めだか
令和 6 年度	1, 048	1, 221	1, 300	1, 117	1, 202
令和 5 年度	983	1, 036	1, 304	100	1, 301

団体名	めだか 2	やまのこ	やまのこ 2	やまのこ 6	合計
令和 6 年度	385	769	1, 259	808	18, 327
令和 5 年度	533	820	1, 279	55	17, 469

○学校図書館との連携事業

アカゲラ号の運行（毎週水曜日、依頼のあった学校へ配本）

団体貸出実績（点）

学校名	下一小	下二小	東小	吉小	西小	明小	富士小	小学校計
令和 6 年度	160	741	417	486	109	527	28	2, 468
令和 5 年度	166	1, 830	303	152	38	708	25	3, 222

学校名	下中	吉中	明中	富台中	中学校計	合計
令和 6 年度	111	28	27	114	280	2, 748
令和 5 年度	15	4	42	47	108	3, 330

5. 令和7年度 主たる事業

○図書館資料の充実

- ① 富士吉田市立図書館資料収集方針及び富士吉田市図書館図書選定基準に則り、多様化する市民のニーズに広く応え、時宜にかなった新鮮な書架管理や蔵書構成に努める。
- ② 地域資料等の収集と整備を行う。

○図書館サービスの充実

- ① 貸出しサービス
 - ・書架管理、展示企画、特集コーナーなどを通し、利用者の読書意欲を高める。
 - ・相互貸借等、当館にない資料等も利用可能であることを周知。
- ② 情報サービス
 - ・利用者の求める資料・情報にアクセスできる環境を提供
- ③ レファレンスサービス
- ④ 利用者の拡大
 - ・様々な世代が参加できるイベント
 - ・市民の学びに役立つ資料の収集及びセミナー
 - ・公式ホームページ、市広報紙、SNS等を活用した広報活動を拡大
- ⑤ 除籍資料のリサイクル
- ⑥ スマート図書館の構築
 - ・ICタグシステムの導入

○本と触れ合う機会の提供

- ① おはなし会
- ② ブックスタート事業、セカンドブック・サードブック事業

○学校図書館との連携・協力

- ① 学校司書との連携・協力
- ② 学校図書館支援
- ③ 読み聞かせ等への職員、ボランティアの派遣

○多様な学習機会の提供

- ① グループ学習室の利用促進
- ② 課題解決型セミナー、講座の開催
- ③ 中高生の職業体験やインターンシップ、施設見学の受け入れ

○情報発信の場としての役割

- ① 時流に乗ったテーマでの企画展示、イベント、セミナーの開催
- ② 市役所・教育委員会のほか、様々な機関や団体との連携による企画展示棟を開催
- ③ 他施設や団体等のチラシ・ポスター・展示企画などによる市民等の活動の情報を発信

○図書館を支える人材の充実

- ① 職員
 - ・ 日本図書館協会、県公共図書館協会等が実施する図書館職員向け研修会への参加
- ② ボランティア
 - ・ ボランティア団体への支援 等

○教科書センターとしての役割

教科書及び指導書の展示・配架を行う

<歴 史 文 化 課>

歴史文化課の事業内容は、大きく分けると文化財保護事業と博物館事業（ふじさんミュージアム・旧外川家住宅）である。

1 基本方針

文化財は、本市の成り立ちや個性を端的に示す有形無形の貴重な財産であり、今の時代を生きる者が後世の人たちに引き継ぐべき責任を負っているものである。このため、文化財保護法や富士吉田市文化財保護条例に基づき、文化財の指定や保護保存に努めている。

例としては、2013年（平成25年6月）に「富士山」が世界文化遺産に登録されたことがある。世界文化遺産「富士山」の構成資産は25件あるが、その内の「旧外川家住宅」、「小佐野家住宅」、「吉田胎内樹型」、「富士山城」（構成要素として「北口本宮富士浅間神社」と「吉田口登山道」を含む）の4件が市内に位置している。2017年（平成29年11月）には北口本宮富士浅間神社の建造物8棟が重要文化財に指定された。また、2022年（令和4年3月）には、吉田口の富士山信仰用具が重要有形民俗文化財に指定された。このように、本市の歴史文化を代表する富士山信仰に関する文化財は、国内のみならず世界を代表する文化遺産として認められている。

現在、本市には国指定・登録28件、県指定11件、市指定57件の合計96件が文化財として指定・登録されている。これら指定文化財の保存修理や新たな文化財の調査、民俗芸能などの活動支援に加え、埋蔵文化財包蔵地や特別名勝富士山指定地域内での開発行為に対する指導や調査等の実施、文化財防火デーなどの啓蒙活動を実施することにより、将来にわたり、かけがえのない財産を守り継いでいく事業を実施している。

また、本市に数多く遺されている文化財をより多くの市民に知っていただくため、調査報告書をはじめ、文化財関連刊行物の発刊及び販売を行っている。

2 文化財関連刊行物

「文化財調査報告書」一覧

（令和7年4月1日現在）

－	旧宮下家住宅移築修理工事報告書	1,500 円
第1集	天然記念物（植物）調査報告書	2,000 円
第2集	吉田城山発掘調査報告書	1,500 円
第3集	富士山吉田口登山道遺跡調査報告書Ⅰ	—
第4集	富士山吉田口登山道遺跡調査報告書Ⅱ	—
第5集	吉田の火祭り調査報告書	2,500 円
第6集	富士山吉田口登山道整備報告書	—

第7集	外川家住宅学術調査報告書	2,500 円
第8集	上暮地新屋敷遺跡発掘調査報告書	—
第9集	上中丸遺跡発掘調査（第2次）報告書	—
第10集	上中丸遺跡発掘調査（第1次）報告書	1,500 円
第11集	富士吉田の富士山信仰用具調査報告書	—
第12集	蝙蝠穴発掘調査報告書	—

「富士吉田の文化財シリーズ」一覧

（令和7年4月1日現在）

その1	富士吉田の文化財	—
その2	史跡、新倉掘抜	—
その3	古文書	—
その4	富士山の信仰	—
その5	路傍の石造物	—
その6	戦国時代の古文書記録	—
その7	民話	—
その8	続民話	—
その9	富士山の信仰 2	—
その10	指定文化財	—
その11	報国蒼龍隊の壮挙（上）	—
その12	報国蒼龍隊の壮挙（上の2）	300 円
その13	報国蒼龍隊の壮挙（上の3）	700 円
その14	民話と伝説	—
その15	渡辺雪峰の画集	700 円
その16	富士山御師	—
その17	報国蒼龍隊の壮挙（下）	500 円
その18	春登上人伝	500 円
その19	古屋敷遺跡	800 円
その20	流鏑馬	350 円
その21	富士山縁年建札と女人禁制	450 円
その22	富士講	—
その23	富士山麓の入会	600 円
その24	指定文化財	350 円

その 25	吉田の風土記	800 円
その 26	思い出ウオッチング	—
その 27	御山登り道	—

※—は絶版

3 富士吉田市内の指定文化財（国・県・市） （令和 7 年 4 月 1 日現在）

種 別 指定別	有 形						登 録 （有 形）	記 念 物			民 俗		合 計
	建 造 物	絵 画	彫 刻	工 芸 品	書 籍・古 文 書	考 古 資 料		史 跡	名 勝	天 然 記 念 物	有 形 民 俗 文 化	無 形 民 俗 文 化	
国	6			1	1		12	1	1	4	1	1	28
県	1		2	2		2				1	1	2	11
市	7	10	2	5	4			3	1	17		8	57
合計	14	10	4	8	5	2	12	4	2	22	2	11	96

4 富士吉田市内の文化財一覧

(令和7年4月1日現在)

(T-大正・S-昭和・H-平成・R-令和)

No.	指定別	No.	種 別	名 称	指定年月日	文化財の所在地
1	国	1	重要文化財（建造物）	北口本宮富士浅間神社東宮本殿	M 40 8 28	上吉田5558
2	国	2	重要文化財（建造物）	北口本宮富士浅間神社本殿	S 28 3 31	〃
3	国	3	重要文化財（建造物）	北口本宮富士浅間神社西宮本殿	S 28 3 31	〃
4	国	4	重要文化財（建造物）	北口本宮富士浅間神社（拝殿及び幣殿・恵毘壽社及び透塀・神楽殿・手水舎・随神門・福地八幡社・諏訪神社拝殿・社務所）	H 29 11 28	〃
5	国	5	重要文化財（建造物）	小佐野家住宅主屋・蔵 附家相図一枚	S 51 5 20	上吉田7-11-18
6	国	6	重要文化財（建造物）	旧外川家住宅 主屋・離座敷・中門 附扁額一枚・物置一棟・家作萬貫帳一冊・家相図一枚	H 23 6 20	上吉田3-14-8
7	国	7	重要文化財（工芸品）	太刀 銘備州長船經家 文安二年二月日 附糸巻太刀拵	T 12 3 28	上吉田5558
8	国	8	重要文化財（書 跡）	紙本墨書 仁王経疏 卷上本圓測撰	S 11 5 6	富士吉田市
9	国	9	重要有形民俗文化財	吉田口の富士山信仰用具	R 4 3 23	上吉田東7-27-1
10	国	10	重要無形民俗文化財	吉田の火祭	H 24 3 8	上吉田
11	国	11	史 跡	富士山	H 23 2 7	八合目以上、富士河口湖町、富士吉田市、静岡県富士宮市、裾野市、小山町
12	国	12	特別名勝	富士山	S 27 11 22	富士吉田市、山中湖村、富士河口湖町、鳴沢村、忍野村
13	国	13	天然記念物	山ノ神のフジ	S 3 1 31	上暮地2114
14	国	14	天然記念物	吉田胎内樹型	S 4 12 17	上吉田字剣丸尾5590
15	国	15	天然記念物	雁ノ穴	S 7 10 19	上吉田字雁ノ穴5605
16	国	16	天然記念物	躑躅原レンゲツツジ及びフジザクラ群落	S 3 3 3	上吉田字鈴原下5603
17	国登	1	登録有形文化財	鹿留発電所うそぶき放水路吐口部	H 9 1 5	富士吉田市旭5-2457-1、5-2462-1、5-4636－1
18	国登	2	登録有形文化財	原家住宅主屋	H 29 10 27	上吉田6-162
19	国登	3	登録有形文化財	上文司家住宅主屋	H 29 10 27	上吉田4-269
20	国登	4	登録有形文化財	高尾家住宅主屋（絹屋町織物市場）	H 29 10 27	下吉田2-431
21	国登	5	登録有形文化財	富士山元祠	R 3 10 14	上吉田字浅間下1-1
22	国登	6	登録有形文化財	大鷹丸家住宅主屋	R 6 3 6	上吉田7-636
23	国登	7	登録有形文化財	富野家住宅主屋	R 6 3 6	上吉田4-277
24	国登	8	登録有形文化財	富野家住宅中門	R 6 3 6	上吉田4-277
25	国登	9	登録有形文化財	旧料亭角田主屋	R 6 3 6	下吉田3-827-3他
26	国登	10	登録有形文化財	旧料亭角田脇門	R 6 3 6	下吉田3-827-3
27	国登	11	登録有形文化財	小澤家住宅主屋	R 7 3 13	上吉田6-132
28	国登	12	登録有形文化財	旧宮下家住宅（柏屋）米蔵	R 7 3 13	上吉田4-264
29	県	1	有形文化財（建造物）	宮下家住宅	S 58 12 7	上吉田東7-27-1
30	県	2	有形文化財（彫 刻）	木造釈迦如来立像	S 39 11 19	上吉田7-7-1
31	県	3	有形文化財（彫 刻）	銅造如来形立像 附延享四年状一通	H 5 11 29	上吉田38
32	県	4	有形文化財（工芸品）	刀 大磨上無銘 伝山城国来国真	S 45 12 23	富士吉田市

4 富士吉田市内の文化財一覧 (令和7年4月1日現在)

(T-大正・S-昭和・H-平成・R-令和)

33	県	5	有形文化財 (工芸品)	不動明王像御正体	H 27 2 5	上吉田東7-27-1
34	県	6	有形文化財 (考古資料)	西方寺弥陀種子板碑 附西方寺弥陀種子板碑一基	S 62 12 2	小明見2-18-27
35	県	7	有形文化財 (考古資料)	上中丸遺跡埋納遺構出土品一括	H 30 3 1	上吉田東7-27-1
36	県	8	有形民俗文化財	藍染資料	S 39 2 20	富士吉田市
37	県	9	無形民俗文化財	北口本宮富士浅間神社太々神楽	H 4 6 22	上吉田5558
38	県	10	無形民俗文化財	下吉田の流鏑馬祭	H 29 9 7	下吉田
39	県	11	天然記念物	富士浅間神社の大スギ	S 33 6 19	上吉田5558
40	市	1	有形文化財 (建造物)	正福寺の本堂	S 41 11 1	浅間1-5-38
41	市	2	有形文化財 (建造物)	正福寺の経堂	S 41 11 1	浅間1-5-38
42	市	3	有形文化財 (建造物)	大正寺の鐘楼	S 41 11 1	浅間1-2-1
43	市	4	有形文化財 (建造物)	福源寺の太子堂	S 41 11 1	下吉田3-41-18
44	市	5	有形文化財 (建造物)	農家 (旧武藤家)	S 58 8 25	上吉田東7-27-1
45	市	6	有形文化財 (建造物)	浅間坊表門	H 27 2 24	上吉田4-1-22
46	市	7	有形文化財 (建造物)	中膺丸家表門	R 6 3 26	上吉田3-14-10
47	市	8	有形文化財 (絵 画)	絹本着色無本覚心像	S 52 2 10	下吉田3-26-18
48	市	9	有形文化財 (絵 画)	絹本着色孤峰覚明像	S 52 2 10	〃
49	市	10	有形文化財 (絵 画)	絹本着色絶学祖能像	S 52 2 10	〃
50	市	11	有形文化財 (絵 画)	絹本着色仏涅槃図	H 22 2 25	〃
51	市	12	有形文化財 (絵 画)	絹本着色蛭蛸観音図	H 22 2 25	〃
52	市	13	有形文化財 (絵 画)	紙本着色峻翁令山像	H 22 2 25	〃
53	市	14	有形文化財 (絵 画)	絹本着色抜隊得勝像賛文	H 22 2 25	〃
54	市	15	有形文化財 (絵 画)	絹本着色禅心聖悦像	H 22 2 25	〃
55	市	16	有形文化財 (絵 画)	渡辺雪峰日本画下絵	S 62 6 1	上吉田東7-27-1
56	市	17	有形文化財 (絵 画)	本殿絵馬五面 附絹本着色富士山北面図	H 14 11 29	上吉田東7-27-1
57	市	18	有形文化財 (彫 刻)	木造聖観音菩薩坐像	H 22 2 25	下吉田3-26-18
58	市	19	有形文化財 (彫 刻)	木造随神倚像	R 4 8 24	上吉田東7-27-1
59	市	20	有形文化財 (工芸品)	万年寺の梵鐘	S 41 11 1	向原1-6071
60	市	21	有形文化財 (工芸品)	太刀 生産無銘 (伝舞草) 「山湖丸」	S 56 4 28	富士吉田市
61	市	22	有形文化財 (工芸品)	刀 朱銘 磨上備前国長船長光	S 56 4 28	富士吉田市
62	市	23	有形文化財 (工芸品)	太刀 大磨上無銘 (伝尻懸)	S 58 1 4	富士吉田市
63	市	24	有形文化財 (工芸品)	脇指 安藤重光 (花押)	S 58 1 4	富士吉田市
64	市	25	有形文化財 (古文書)	菊田日記	S 48 10 1	上吉田東7-27-1

4 富士吉田市内の文化財一覧 (令和7年4月1日現在)

(T-大正・S-昭和・H-平成・R-令和)

65	市	26	有形文化財 (古文書)	一字不説の巻	S 62 6 1	富士吉田市
66	市	27	有形文化財 (古文書)	富士乃日記	S 63 2 10	上吉田5558
67	市	28	有形文化財 (古文書)	橘屋勘右衛門日記	R 2 5 28	上吉田東7-27-1
68	市	29	無形民俗文化財	小明見富士浅間神社の神楽舞	S 44 3 4	小明見
69	市	30	無形民俗文化財	小明見の神楽舞 (獅子舞)	S 48 10 1	小明見
70	市	31	無形民俗文化財	天神社の獅子舞神楽と馬鹿踊	S 54 11 30	下吉田
71	市	32	無形民俗文化財	富士山元講	S 61 1 11	上吉田
72	市	33	無形民俗文化財	松山の獅子神楽	H 18 8 25	松山
73	市	34	無形民俗文化財	新屋の獅子神楽	H 30 4 26	新屋
74	市	35	無形民俗文化財	向原上組の道祖神祭	R 2 5 28	向原上組
75	市	36	無形民俗文化財	向原下組の道祖神祭	R 2 5 28	向原下組
76	市	37	史 跡	新倉掘抜	S 41 11 1	新倉2568
77	市	38	史 跡	富士山遥拝所女人天上	S 55 10 15	上吉田字細尾野5616
78	市	39	史 跡	石屋の寝床及び石切場跡	S 61 2 19	上吉田字鳥居木5598
79	市	40	名 勝	大正寺の庭園	S 44 3 4	浅間1-2-1
80	市	41	天然記念物	小室浅間神社のカツラ	S 44 3 4	下吉田3-32-18
81	市	42	天然記念物	獅子岩	S 61 12 1	下吉田6545
82	市	43	天然記念物	向原のイチイ	H 4 9 1	向原2-30
83	市	44	天然記念物	北口本宮富士浅間神社のスギ	H 4 9 1	上吉田5558
84	市	45	天然記念物	大塚丘のヒノキ	H 4 9 1	上吉田5619
85	市	46	天然記念物	北口本宮富士浅間神社のヒノキ	H 4 9 1	上吉田5558
86	市	47	天然記念物	上暮地日影のカキ	H 4 9 1	上暮地4071
87	市	48	天然記念物	新倉富士浅間神社のモミ	H 6 2 1	浅間2-4-1
88	市	49	天然記念物	新倉富士浅間神社のヒノキ	H 6 2 1	〃
89	市	50	天然記念物	大明見小室浅間神社のコナラ	H 6 2 1	大明見2-148
90	市	51	天然記念物	中宿山神社のエゾエノキ	H 6 2 1	上吉田3-9-2
91	市	52	天然記念物	中宿山神社のコブシ	H 6 2 1	〃
92	市	53	天然記念物	大明見山神社のモミ	H 6 6 29	大明見3499
93	市	54	天然記念物	小明見字海端子之神社のウワミズザクラ	H 6 6 29	小明見5-3352
94	市	55	天然記念物	上暮地山神社のイタヤカエデ	H 6 6 29	上暮地2114
95	市	56	天然記念物	上暮地浅間神社のカヤ群	H 6 6 29	上暮地6-11-3
96	市	57	天然記念物	大明見の大ナシ	H 6 6 29	大明見5-66

5 富士吉田市史等 刊行物一覧

(令和7年4月1日現在)

図 書 名			発行年度	価 格
富士吉田市史	史料編	第1巻 自然・考古	H9	4,000
		第2巻 古代・中世	H3	4,000
		第3巻 近 世 I	H5	7,000
		第4巻 近 世 II	H5	7,000
		第5巻 近 世 III	H8	6,000
		第6巻 近・現代 I	H4	6,000
		第7巻 近・現代 II	H6	4,000
	通史編	第1巻 原始・古代・中世	H12	4,000
		第2巻 近 世	H12	5,000
		第3巻 近・現代	H11	4,000
	民俗編	第1巻	H7	8,000
		第2巻	H7	
	行政編	上巻	S53	10,000
下巻		S53		
民 俗 調 査 報 告 書	1集 向原の民俗（上）	S57	—	
	2集 向原の民俗（下）	S58	1,100	
	3集 古原の民俗	S58	—	
	4集 新屋の民俗	S59	—	
	5集 上暮地の民俗	S60	—	
	6集 新倉の民俗	S61	—	
	7集 松山の民俗	S62	1,800	
	8集 大明見の民俗	S62	—	
	9集 上吉田の民俗	S63	—	
	10集 下吉田の民俗	H1	—	
富士吉田市史資料叢書	1 旧三力村事務報告書・瑞穂村	S61	1,400	
	2 旧三力村事務報告書・明見村	S61	1,300	
	3 旧三力村事務報告書・福地村	S62	1,400	
	4 村明細帳	S62	1,400	
	5 社会実態調査	S63	1,400	
	6 検地帳	S63	4,000	
	7 旧村地誌	H1	1,400	
	8 古屋敷遺跡発掘調査報告書	H1	—	
	9 富士吉田市史新聞記事索引	H2	1,300	
	10 妙法寺記	H2	—	
	11 上吉田の石造物	H2	5,000	
	12 近代統計編	H2	3,000	
	13 マネキ	H7	4,000	
	14 池之元遺跡発掘調査報告書	H8	4,000	
富士吉田市史研究	創刊号	S60	700	
	第2号	S61	820	
	第3号	S62	900	
	第4号	S63	950	
	第5号	H1	600	
	第6号	H2	500	
	第7号	H3	1,000	
	第8号	H4	800	
	第9号	H5	800	
	第10号	H6	750	
	第11号	H7	1,000	
	第12号	H8	1,000	
	第13号	H9	1,000	
	第14号	H10	1,000	
	第15号	H11	600	
富士吉田市の遺跡			S56	—
富士吉田市史基礎資料第1巻「入会編」			S38	—
富士吉田市史資料（2）「近代水利編」 上巻			S40	—
富士吉田市史資料（3）「近代水利編」 下巻			S42	—
富士吉田市年表			S53	—

※ — は絶版

■ふじさんミュージアム（富士吉田市歴史民俗博物館）

昭和 54 年 3 月に「富士吉田市郷土館」として開館しました。その後、増改築を行い平成 5 年 4 月に「富士吉田市歴史民俗博物館」として名称を変えてオープンしました。平成 27 年 4 月 4 日、「ふじさんミュージアム」としてリニューアルオープンしました。

1 施設の概要



■所在地：富士吉田市上吉田東七丁目 27 番 1 号 Tel24-2411（FAX24-4665）

■開館時間：午前 9 時 30 分～午後 5 時 00 分（入館は午後 4 時 30 分まで）

■休館日：火曜日（火曜祝日の場合、その翌日）、年末年始

※夏季の 7 月及び 8 月は無休で開館

■観覧料：●御師旧外川家住宅との共通券（2 館共通券）

大人 400 円（320 円）、小中高生 200（160）円

●富士山レーダードーム館・御師旧外川家住宅（3 館共通券）

大人 800 円（600 円）、小中高生 450 円（350 円）

※（ ）内は 20 名以上の団体料金

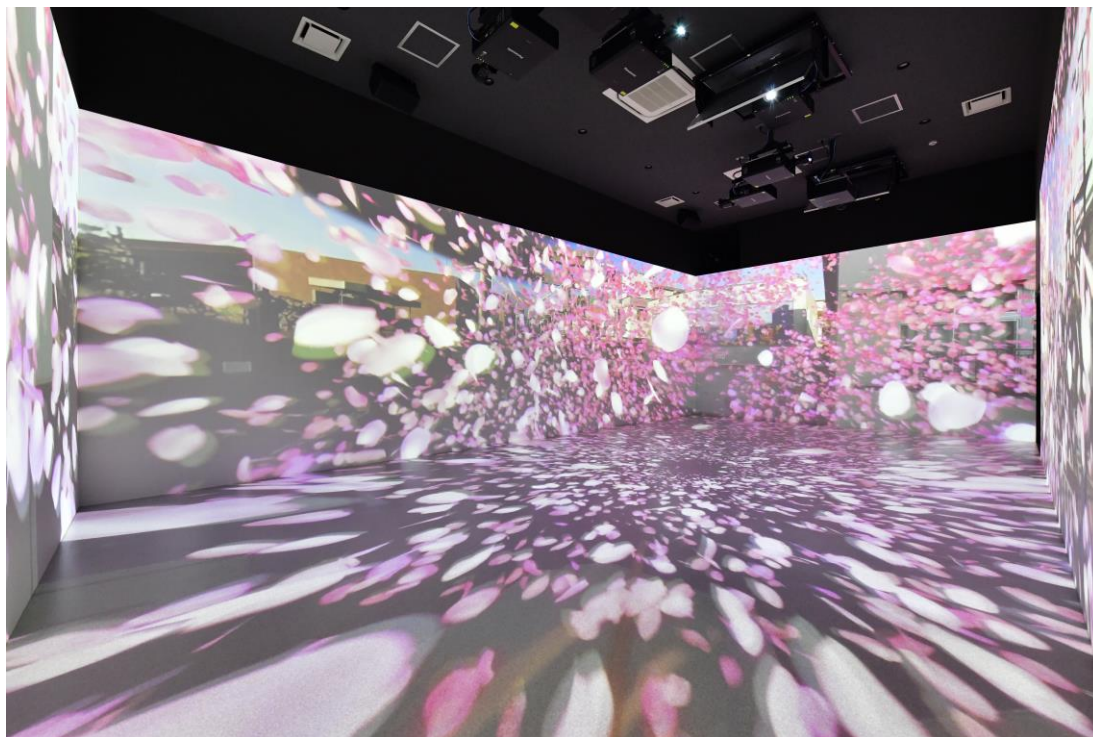
■建物概要：RC4 階建、高さ 19.948m

延床面積 4,001.28 m²、展示面積 977.58 m²

■ミュージアムの役割

平成 25 年 6 月に富士山世界文化遺産登録が実現し、「富士山と信仰」に対する人々の関心が高まっていることから、当館が保有・展示する、他の博物館の追随を許さない質と量を誇る「富士山信仰」に関する資料は、大いに注目を集めており、富士山世界文化遺産を紹介する中核施設としての役割を担っています。

①ふじさんVRシアター



令和5年4月に新たな映像展示「ふじさんVRシアター」を導入しました。周囲360°と床面に映し出される立体的のある映像は、まるでその場にいるかのような臨場感と迫力を体感できる映像コンテンツとなっています。

「富士山頂への道」と題した映像コンテンツは、麓から山頂に至るまでの富士登山を疑似体験いただけます。また、人の視点では通常見ることが富士山の絶景も合わせてお楽しみいただける内容となっています。

■上映時間 約12分 ■定員 約20名 ■観覧料(常設展観覧料に含まれる)

■上映回数 毎時15分～／45分～(最終上映16:15)

■多言語対応(英語・中国語・タイ語)

②富士山について誰もが気軽に楽しく学べる開かれた博物館

■富士山との出会い



展示の導入には、コンピュータグラフィックを用いた映像による富士山信仰の世界へ誘います。

■人は何故富士山へ登るのか



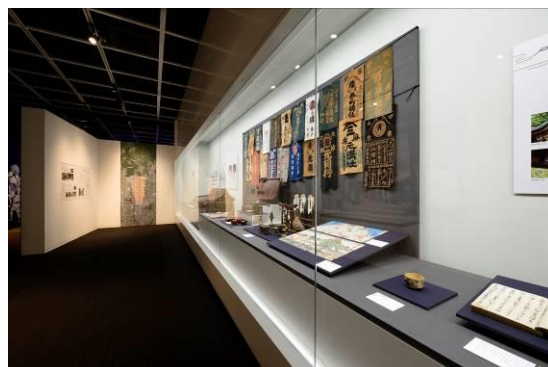
「富嶽人物百景」では、富士山に縁深い信仰者・芸術家・科学者らをタッチパネルモニターで紹介。

■富士登山の今昔



「富士山デジタル今昔絵巻」は、江戸から富士山頂へ至るまでのルート为名所旧跡の写真、絵画等を織り交ぜながら紹介。

■富士山信仰の起源と変遷



富士山の神仏とその信仰の起源や、江戸時代に盛んだった富士講と彼らを迎えた「御師」を紹介。

■富士山昔ばなし



富士山にかかわる昔ばなしや伝説をアニメーションでわかりやすく解説。

■御師町にぎわいシアター



大型プロジェクターの映像により、江戸時代の富士登山のようすや「吉田の火祭」を紹介。

■吉田の火祭



明神神輿・御山神輿と大松明の実物を展示し、火祭の歴史と祭りのようすを紹介。

■富士吉田の歴史



富士山の火山災害下での人々の暮らしや全国有数の長さを誇る江戸時代の用水トンネル「新倉掘抜」を紹介。

■富士吉田の生活



富士吉田の織物産業の昔と今、日々の暮らしと祭りを紹介。

■ヘリテージ富士

縮尺 1/2,000 の富士山大型立体模型に投影されるプロジェクションマッピングで富士山の四季や富士山に関連した8つのトピックを紹介。



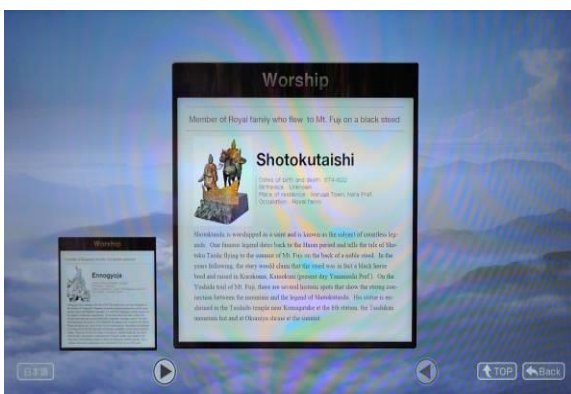
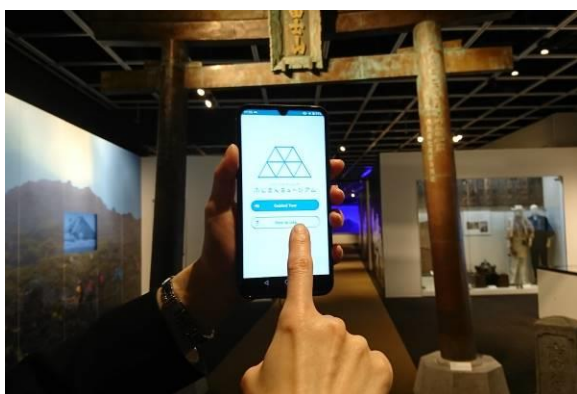
③人にやさしく、ゆったりくつろげ、出会いと交流を育む博物館



エントランス・ロビーを拡張した休憩スペース、ミュージアムショップの設置。



施設のバリアフリー・ユニバーサル化。
障害者専用駐車場、入口を整備。



外国人利用者へのサービス向上として展示解説、映像ナレーション、シアター映像には、日本語・英語・中国語・タイ語の4ヶ国語の音声ガイド（無料）を設置。



高齢者・障害者・福祉団体等への利用促進やサービス。車椅子対応の他、「富士山昔ばなし」・「御師町にぎわいシアター」の映像展示には、手話モードを設置。

○学校教育や生涯学習に対する支援や学習機会の提供

○情報提供機能の向上（周辺情報の提供、ガイダンス機能の強化）

2 エリア内附属施設

エリア内には付属施設として、宝永年間（1704～）に建造された「旧宮下家住宅」、養蚕のための兜づくりの屋根となった「旧武藤家住宅」があります。



旧宮下家住宅（県指定文化財）



旧武藤家住宅（市指定文化財）

*武藤家住宅は、移築復元中

3 御師 旧外川家住宅 （※令和8年3月まで耐震補強工事による休館）



（平成23年6月20日 重要文化財 指定、平成25年 富士山世界文化遺産構成資産）

■所在地：富士吉田市上吉田三丁目14番8号

TEL/Fax 22-1101

■開館時間：午前9時30分～午後5時00分

（入館は午後4時30分まで）

■休館日：火曜日（火曜祝日の場合、その翌日）、年末年始

■観覧料：大人100円（団体80円）小中高生50円（団体40円）

※（ ）内は20名以上の団体料金

御師旧外川家住宅は、富士山への登山者を迎え入れてきた御師の宿坊の一つであり、18世紀後半の明和5年（1768）頃に建造されました。上吉田に現存する御師住宅の多くは、19世紀以降の建築と推定され、この時期まで遡るものは少なく、きわめて貴重な建造物といえます。多くの人々に、登山口に存立した富士御師の実態や富士山の登拝等を学ぶことができる学習施設として公開しています。

【御師町お休み処】



御師旧外川家住宅は、重要文化財・富士山世界文化遺産の構成資産として多くのから駐車場の一部に休憩、トイレ、売店機能を併せ持つ「御師町お休み処」を設置しています。施設内にはかつて博物館で展示していた御師町のジオラマを移設し、上吉田の町並みを解説する資料として活用しています。

4 令和7年度の事業等

【企画展／講座】

○企画展示

■富士山絵画展

令和7年2月22日～令和7年5月19日

■企画展「大先達－富士講指導者齊藤義次のあゆみ－」

令和7年6月21日～令和7年9月22日

■企画展「新倉の歴史（仮称）」

令和7年10月18日～令和8年1月19日

■企画展「甲斐絹をよむ vol. 3（仮）」

令和8年2月21日～令和8年5月18日

【ワークショップ】

・体験型のワークショップを随時開催

○富士山カード立て作り

○オリジナル缶バッジを作ろう

○まつぼっくりでクリスマスツリーを作ろう

○富士山折り紙教室

○富士山おふだ摺り

【博物館交流事業】

・縄文王国山梨交流事業

・ミュージアム甲斐ネットワーク関連事業

【令和 7 年度予定刊行物等】

- ・ 博物館資料叢書第 7 集「菊田日記⑥」
- ・ ミュージアムだより MARUBI No.51

5 入館者数一覧表

■歴史民俗博物館月別入館者数

(単位：人)

	R4年度			R5年度			R6年度		
	博物館 入館者	経由 入館者	総入館者	博物館 入館者	経由 入館者	総入館者	博物館 入館者	経由 入館者	総入館者
4月	1,273	598	1,871	5,758	733	6,491	4,294	879	5,173
5月	1,640	1,581	3,221	5,540	1,908	7,448	4,952	1,743	6,695
6月	1,537	1,346	2,883	3,285	1,947	5,232	3,012	911	3,923
7月	1,876	1,794	3,670	5,902	1,598	7,500	5,327	1,179	6,506
8月	2,325	837	3,162	9,926	762	10,688	8,314	1,139	9,453
9月	2,007	963	2,970	4,849	1,222	6,071	4,508	1,112	5,620
10月	1,644	1,018	2,662	4,745	753	5,498	4,726	1,397	6,123
11月	1,226	463	1,689	4,607	545	5,152	4,114	498	4,612
12月	507	154	661	1,238	163	1,401	1,754	265	2,019
1月	558	106	664	1,884	262	2,146	1,546	278	1,824
2月	773	133	906	2,308	212	2,520	2,264	208	2,472
3月	1,907	486	2,393	3,213	394	3,607	2,947	489	3,436
合計	17,273	9,479	26,752	53,255	10,499	63,754	47,758	10,098	57,856

※「経由入館者」とは、御師旧外川家住宅及び富士山レーダードーム館経由での共通券利用入館者数。

■御師旧外川家住宅月別入館者

年度	R4年度			R5年度			R6年度 ※耐震補強工事のため休館		
月	旧外川家 入館者	経由 入館者	総入館者	旧外川家 入館者	経由 入館者	総入館者	旧外川家 入館者	経由 入館者	総入館者
4月	447	92	539	953	150	1,103			
5月	672	159	831	607	249	856			
6月	337	92	429	416	132	548			
7月	366	100	466	648	256	904			
8月	666	206	872	861	273	1,134			
9月	405	161	566	650	265	915			
10月	465	158	623	793	215	1,008			
11月	499	88	587	510	154	664			
12月	188	65	253	218	33	251			
1月	369	46	415	402	69	471			
2月	308	92	400	406	92	498			
3月	779	168	947	549	148	697			
合計	5,501	1,427	6,928	7,013	2,036	9,049			

※「経由入館者数」とは、歴史民俗博物館及び富士山レーダードーム館経由での共通券利用入館者数。

6 博物館企画展図録等

ふじさんミュージアム展示解説	1,000円
旧外川家住宅展示解説書	100円
平成8年度 企画展図録「富士山の絵札」	—
平成9年度 企画展図録「富士山明細図」	1,000円
平成11年度 企画展図録「絵葉書に見る富士登山」	—
平成12年度 企画展図録「富士山登山案内図」	1,000円
平成13年度 企画展図録「太々神楽と獅子神楽」	1,000円
平成15年度 企画展図録「富嶽寫眞」	—
平成16年度 企画展図録「国絵図郡絵図村絵図」	1,000円
平成17年度 企画展図録「おめでたいカタチ」	1,000円
平成20年度 企画展図録「身祿の聖物」	1,000円
平成20年度 企画展図録「富士の神仏」	—
平成21年度 企画展図録「月江寺展」	1,000円
平成22年度 企画展図録「写真で見る富士吉田の歩み」	600円
平成22年度 企画展解説冊子「富士の女神のヒミツ」	200円
平成23年度 企画展解説冊子「吉田の火祭のヒミツ」	200円
平成25年度 企画展解説冊子「世界遺産富士山のヒミツ」	200円
平成27年度 企画展解説冊子「富士講のヒミツ」	200円
令和6年度 企画展解説冊子「富士山御師のヒミツ」	200円
平成28年度 企画展解説冊子「縄文人が目撃した富士山噴火」	200円
平成29年度 企画展解説書「北口本宮富士浅間神社のすべて」	300円
令和4年度 企画展解説書「富士山登山口上吉田と吉田胎内の歴史」	300円
平成15年度 富士山叢書「富士八海をめぐる」	—
平成16年度 富士山叢書「富士山周遊図」	500円
平成17年度 富士山叢書「甲斐国史富士山北口を行く」	1,000円
平成18年度 富士山叢書「富士を登る」	1,000円
平成22年度 富士山叢書「富士山道しるべを歩く」	1,000円
平成25年度 富士山叢書「富嶽人物百景」	1,500円
令和6年度 富士山叢書第6集「富嶽信仰百景」	1,500円
平成26年度 「研究紀要」第1集	1,400円
平成30年度 「研究紀要」第2集	2,000円
平成28年度 資料叢書第1集「郡内紙吉田村明細帳・白須市左衛門・…」	2,000円
平成29年度 資料叢書第2集「菊田日記①」	2,500円
平成30年度 「研究紀要」第2集	2,000円
令和元年度 資料叢書第3集「菊田日記②」	2,500円
令和3年度 資料叢書第4集「菊田日記③」	2,500円
令和4年度 資料叢書第5集「菊田日記④」	2,000円
令和5年度 資料叢書第6集「菊田日記⑤」	2,500円

※ — は絶版

令和7年度 富士吉田市立教育研修所事業

1 教育研修所の設置目的

- ・本市の教育の振興及び児童生徒の健全な育成に寄与する。
- ・教育の研究並びに教員の資質の向上を図る。

2 教育研修所の事業

(1) 富士山教育研究実践事業

- ・富士山を知る学習・地域を知る学習・交流活動を柱として、「富士山と自分の住んでいる地域に誇りを持てる子どもたちを育てる」ことを目的としている。富士山学習研究会を中心として、体験活動や発表会など実施しながら各校の特色を活かし実践していく。
- ア 富士山学習研究会（年4回）
 - ・富士山学習の実践に関する研究を行う。
- イ 富士山学習視察研修会（年2回）
 - ・富士山学習を実践するために、視察研修を通して地域素材を開拓し、教材化する方法などを学ぶ。
- ウ 富士山学習講師派遣事業（ようこそ富士山の先生）
 - ・富士山学習に関する講師を各学校に派遣する。
- エ 「わたしたちの富士吉田市・富士山」作品コンクール
 - ・富士山を題材とした絵画・絵手紙などの作品コンクールを実施する。入選作品の作品展を開催する。
- オ 富士山学習発表会
 - ・各学校で取り組んだ富士山学習の成果をまとめた代表作品を展示し、市民に広く広報する。
- カ ふじさんミュージアム活用事業
 - ・富士山学習におけるふじさんミュージアムの活用を推進する。
- キ ふるさと発見ワークショップ
 - ・市内5中学校で、富士吉田市で働く若者から郷土の素晴らしさを伝えるワークショップを開催する。
- ク 職場体験支援
 - ・市内5中学校の職場体験事業への支援を行う。
- ケ 富士子屋（長期休業中学習支援）
 - ・長期休業中の自主的な学習の場を提供し、学習習慣の定着と学習意欲の向上を図る。

(2) 外国語指導委託事業

- ・外国語指導講師（ALT）を派遣業務委託し、小・中学校の外国語教育の充実と、国際理解教育の推進を図る。
- *◎ロシエル・フローレス（下吉田第一小・他小学校） ◎：ALTリーダー
- *エドガー・マナハン（下吉田第二小） *パール・ガブリエル（下吉田東小・吉田小）
- *ウリッサ・マガダン（明見小・下吉田第二小） *アイリーン・ホリウチ（吉田小）
- *マクドネル・メンサー（吉田西小） *ジナリン・エンディル（富士小・下吉田中）
- *ポール・シニア（下吉田中） *シャーリー・ルナ（明見中・吉田小）
- *レイチェル・ヴィラー（吉田中） *アルジン・アニンガラ（富士見台中・吉田中）

(3) 研修所事業

①研修等に関すること

- ア 先進校留学研修（期間：5日間）
 - ・特色ある教育に先進的に取り組む県外の小中学校で、研修先の一員として勤務しながら、自己の研修課題に取り組む。

イ ICT活用研修会

- ・市内小中学校に配備されているタブレット PC などの ICT 機器やデジタル教科書などのソフトウェアの基本操作や活用方法及び G o o g l e に関する実践的な研修を実施し、授業における ICT 機器の効果的な活用を学ぶ。

ウ 特別支援教育研修会

- ・特別支援学級担当の教職員や支援員だけではなく、通常学級の担任も対象とし、特別支援教育学級での支援のあり方や保護者への対応、通常学級における個別的配慮を必要とする児童生徒への支援方法などについて学ぶ。

エ 教育相談研修会

- ・児童生徒との望ましい関係を構築するために、コミュニケーションスキル等の対応方法を学ぶ。

オ 外国語教育研修会

- ・外国語授業の実践を通して、効果的な学習方法や学習評価、デジタル教材の活用方法について、小中連携を意識しながら学ぶ。

カ 防災教育研修会

- ・市安全対策課など関係機関と連携を図る中で、防災に関する研修会を実施し、防災対策への意識向上を図る。

キ スキルアップ研修

- ・教職員資質向上、WEBQU活用、図工美術指導、博物館視察、専門職研修、期臨市教諭実践研修等、教職員のスキルアップに資する研修を実施する。

②調査・研究に関すること

ア 生徒指導研究会（年3回）

- ・市内児童生徒の実態に即した生徒指導上の課題についての調査・研究や、各校による情報交換を行い、健全な児童・生徒の育成を図る。

イ 情報教育研究会（年6回）

- ・情報教育機器の利用の推進、及び情報教育に関する研究を行う。

ウ 外国語教育研究会（年5回）

- ・学習指導要領の確実な実施、小・中学校における外国語の指導方法やデジタル教科書等 ICT の活用などに関して、協議と研究を行う。

エ 環境教育副読本改訂委員会【今年度は休会】

- ・小学校3年生以上で使用している環境教育副読本の改訂作業と発刊を行う。

オ 社会科副読本改訂委員会【今年度は休会】

- ・小学校3・4年生で使用している社会科副読本の改訂作業と発刊を行う。

カ 教育課程研究会（主幹教諭・教務主任）（年3回）

- ・教育課程の編成と運営について研究を行う。

キ 関東地区教育研究所連盟研究会（年2回）

- ・関東地区の各教育研究所との連携と、研究員の資質の向上を目的とする。

ク その他（関連事業）

- ・県の研究指定校等の指導助言を行う。

③学力向上に関すること

ア 学力調査分析

- ・全国学力・学習状況調査、山梨県学力把握調査の結果を分析し、各校での指導改善に活かす。

イ 長期休業中学習支援（富士子屋）

- ・長期休業中の自主的な学習の場を提供し、学習習慣の定着と学習意欲の向上を図る。

ウ 家庭学習支援

- ・e ライブラリー、ミライシート等を有効に活用し、家庭学習の定着を図る。

④教育相談に関すること

- ・総合教育支援員が関係機関と連携を図りながら、いじめ・不登校・学力向上・特別支援教育など、学校現場や保護者・児童生徒に対して、幅広く組織的・継続的な支援を行うとともに、生徒指導全般にわたり一層の支援の充実を図る。
- ア 電話相談・面接相談の実施 …月曜日から金曜日（8:30～17:15）：教育相談室(研修所)
- イ 教育支援室…月曜日：子育て支援センター（9:00～15:30）
火曜日から金曜日：市民会館2階（9:00～15:30）
- ウ 学校訪問を通して、市内教職員の生徒指導上の諸問題についての相談に応じるとともに、協力して該当児童・生徒の教育相談や教育支援等の援助活動を行う。また、必要に応じて関係各機関との連携を図る。
- エ 家庭訪問活動等を学校と連携を図りながら実施し、継続的な指導援助を行う。
- オ 就学に関する相談を行う。

⑤派遣事業

- ア 私傷病休暇等代替職員派遣事業
 - ・私傷病休暇等代替職員を下吉田第一小学校に配置し、市内小学校（7校）の教職員が傷病休暇等の際には、要請に応じ職員を派遣し、児童の教育充実に資していく。
 - ・市内中学校私傷病休暇等代替職員を登録して、中学校へ派遣する。
- イ 外国人子女等指導協力者派遣事業
 - ・外国語を理解できる者（指導協力者）を外国人子女等の在籍する学級に巡回派遣し、学習面や生活面においてきめ細かな指導を行うこと、また、通訳、翻訳、教員の教育活動に対する協力に当たらせる等、外国人子女等の適応指導体制を推進する。
- ウ 校務支援講師派遣事業
 - ・校務支援講師を配置し、短期研修者の代替授業、その他校務に関わる学校運営支援、その効果的運用を図ることにより児童生徒の教育の充実に資していく。

⑥主催活動に関すること

〔発表会の開催〕 実行委員会を組織し準備及び運営にあたる。

- ・「富士山音楽祭」を開催する。
- ・富士吉田市小中学校図工・美術大会〈第74回〉
- ・理科自由研究審査会

〔刊行物の発行〕

※電子版

- ・教育研究（第76集）（電子版）
- ・理科自由研究集（電子版）
- ・幼保小連携連絡会議担当者会活動報告書（電子版）
- ・ビデオライブラリー（電子版）
- ・富士山教育研究報告書（電子版）

※冊子

- ・教育研修所要覧
- ・社会科副読本「わたしたちの富士吉田市」
- ・環境教育副読本「富士吉田の自然」

〔小学校芸術鑑賞会の公演内容選定〕

- ・実行委員を組織し内容の選定、各校の日程調整にあたる。

⑦情報システムに関すること

ア あいシステム（校務支援システム）の運用

- ・教職員の業務の効率化を図り、児童・生徒と向き合い、指導できる時間や心身の余裕を生み出せるようにするため、諸表簿等の出入力や非常時等における児童・生徒の保護者へのメール配信をネットワーク環境の利用によって運用する。また、そのための連絡や調整等を行う。

イ 教職員用PC・タブレットの運用

- ・1人1台PC・タブレットなどのICT環境の整備を行う。

（４）庶務に関すること

- ・教育関係資料等の収集・整理・情報発信に関すること
- ・視聴覚ソフト、ICT機器等の整備及び活用の促進に関すること
- ・一般文書、各種伝票事務に関すること
- ・県教委等の委託業務に関すること

3 教育研修所の運営

ア 教育研修所運営協議会（2回）

イ 教育研修所研究員委嘱式・研究会

4 関連事業・関連組織

（１）富士吉田市教育協議会

- ・定期総会及び年6回の研究部会を行い、教職員の資質の向上を図る。

（２）富士吉田市幼保小連携連絡会議及び幼保小連携担当者会

- ・年4回の幼保小連携担当者会議を行い、市全体の幼稚園・保育園・小学校の連携の強化を図る。

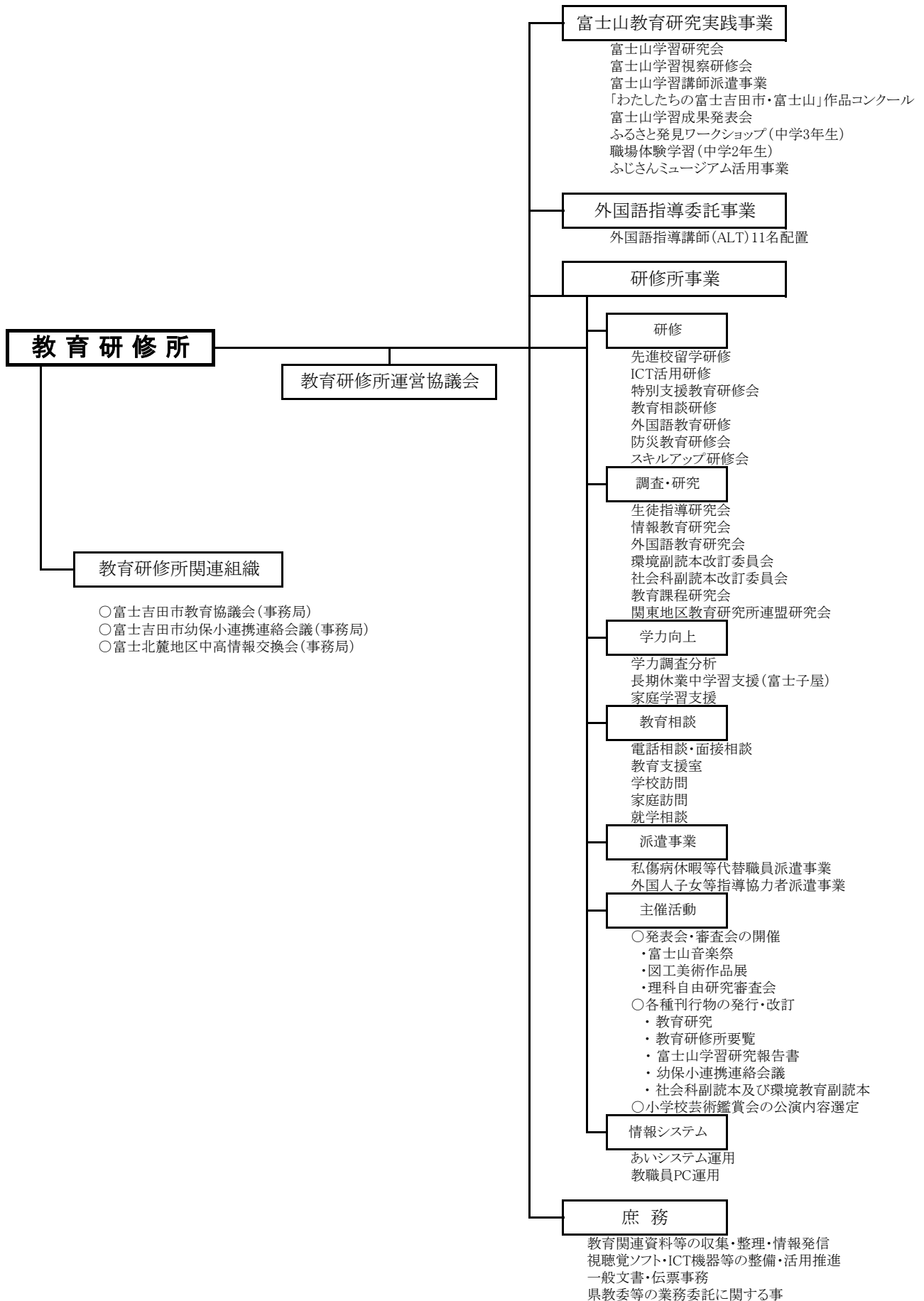
（３）富士北麓地区中高情報交換会

- ・富士北麓地区の中高で情報交換を行う。

（４）富士吉田地区小中高連携連絡会議

- ・年2回の連絡会議を開催し、市内小中学校と近隣の高等学校の連携を図る。

令和7年度 富士吉田市教育研修所 組織・機構



令和6年度 教育相談・指導

令和7年3月31日現在

相談等種別	件数(人)	相談回数	連携機関
児童虐待	1	1	こども家庭センター, 市の他課, 都留児童相談所, 富士吉田警察署 SSW, SC
養育不良	6	11	こども家庭センター, 市の他課, 都留児童相談所, SSW, SC, 山梨立正光生園, ココロン
暴力的行為	2	3	都留児童相談所
問題行動 (飲酒, 喫煙, 深夜徘徊, 外泊)	6	12	都留児童相談所, こども家庭センター, SSW, SC, 警察署, 北病院
性格行動	1	0	福祉課, こども家庭センター, 健康長寿課, こころの発達総合支援センター, 都留児童相談所, 富士東部リハビリセンター, 健康科学大学リハビリテーションクリニック小児科など
不登校	56	1326	都留児童相談所, 市の他課, SSW, SC, 富士ふれあいセンター, こころの発達センター, 北病院, 河口湖町役場, こども家庭センター, ことばの教室
いじめ	2	2	
しつけ	1	0	
障害・病気	2	2	こども家庭センター, 福祉課, ふじのわ
就学等	151	398	県教委特別支援教育担当指導主事, 通級指導教室, 総合教育センター特別支援教育部, ふじざくら支援学校, 甲府支援学校, 県立ろう学校, 県立盲学校, 健康長寿課, 福祉課, こども家庭センター, 保育園, 幼稚園, 都留児童相談所, こころの発達総合支援センター, 富士ふれあいセンター, 山梨医大病院, 富士東部小児リハビリテーション診療所, ハーベスト, おもちゃ箱, ココロン, あかね雲, SC, 他地区の保育園・幼稚園
その他	26	67	総合教育センター特別支援教育部, ふじざくら支援学校, こども家庭センター, 福祉課, 健康長寿課, 都留児童相談所, SC, こころの発達総合支援センター
R6年度計	254	1822	

件数は、本人、保護者等に数回継続して実施した場合でも1つのケースを1件として数えて記入。

令和7年度 教育研修所 研修会 一覧（予定）

令和7年5月現在

■新転入・新採用教職員研修会

講座名	月日（曜）	時間	対象者	主な内容
ふじさんミュージアム研修会	7月28日（月）	9:30-11:00	市内新転入者・希望者	ふじさんミュージアムの視察研修会を実施し、富士山学習について認識を深める。

■教育相談研修会

いじめ防止教育研修会	7月30日（水）	9:30-11:00	生徒指導主事・学級担任 希望者	いじめの構造、いじめの心理を理解し、いじめを未然防止する重要性について考える。 講師：総合教育センター 一瀬 英史
------------	----------	------------	--------------------	--

■特別支援員・特別支援教育研修会

特別支援教育支援員研修会	4月3日（木）	13:30-15:30	特別支援教育支援員	特別支援教育の現状と支援員の役割について、発達障害について・特別支援教育支援員として 講師：富士吉田市教育委員会 清水亜子、堀内悟
特別支援教育研修会	5月16日（金）	15:30-16:45	特支コーディネーター・ 特支学級担任・希望者	学びの場の検討（就学・進学について）・ふじざくら支援学校の説明 講師：県立ふじざくら支援学校 小山ひとみ
特別支援教育研修会	7月23日（水）	13:30-15:00	特別支援教育支援員・希望者	学級担任と特別支援教育支援員が効果的に協力するために～子ども理解を軸にした協力～ 講師：都留文科大学 佐藤 比呂二

■富士山教育視察研修会

富士山学習視察研修会①	7月31日（木）	9:00-16:00	富士山教育研究員 希望者	富士山教育の研究実践を行うために、地域素材を紹介し、教材化する方法などを学ぶ。
富士山学習視察研修会②	10月31日（金）	13:00-16:30	富士山教育研究員 希望者	富士山教育の研究実践を行うために、地域素材を紹介し、教材化する方法などを学ぶ。

■学習指導要領対応のための研修会

外国語教育研修会	7月28日（月）	13:30-15:30	外国語教育研究員 希望者	外国語の授業のポイントや、スモールトークやクラスルームイングリッシュの実践研修。講師：ハートコーポレーション
ICT利活用研修会	7月22日（火）	9:30-11:00	情報教育研究員 希望者	GIGAスクール化における一人一台端末を効果的に活用して行う授業づくりに関する研修を行う。講師：山梨大学 三井一希
ICT利活用研修会	12月26日（金）	13:30-15:00	情報教育研究員 希望者	GIGAスクール化における一人一台端末を効果的に活用して行う授業づくりに関する研修を行う。講師：山梨大学 三井一希

■教師スキルアップ講座

WEBQU研修会②	4月28日（月）	15:30-17:00	希望者	WEBQUの分析と、学級集団や児童・生徒へのアプローチの手だてを考える。講師：都留市教育委員会 三浦 淳
ソーシャルスキルトレーニング研修会	6月17日（火）	15:30-17:00	新採用 新転入職員 希望者	安心して生活できる学級づくりのためのソーシャルスキルトレーニングについて学ぶ。講師：元都留文科大学 品田 笑子
エンカウンター研修会	10月28日（火）	15:30-17:00		安心して生活できる学級づくりのためのエンカウンターについて学ぶ。講師：元都留文科大学 品田 笑子
期・臨・市実践研修会①	4月30日（水）	16:30-17:30	希望者	基本的な情報・心構えについて学ぶ。
期・臨・市実践研修会②	5月28日（水）	16:30-17:30		学校教育を取り巻く教育関係法規について学ぶ。
期・臨・市実践研修会③	6月13日（金）	16:30-17:30		論文について学ぶ。
期・臨・市実践研修会④	7月1日（火）	16:30-17:30		面接について実践を通して学ぶ。
期・臨・市実践研修会⑤	8月1日（金）	9:30-11:30		面接について実践を通して学ぶ。
若手教職員資質向上研修会	7月24日（木）	9:30-11:00	教員経験5年以下	先輩教員からの経験を通して、日頃の教育活動を通しての悩みや課題について考える。講師：船津小 渡邊克吉
専門職員スキルアップ研修会	未定 （計3回）	未定	学校事務・学校保健 司書	それぞれの希望にそって、研修日時・研修内容を相談し、確定する。

■ICT活用研修会

G I G A 研修会①	4月16日（水）	16:00-17:00	市内新転入者・希望者	ミライシードの活用について研修を行う。 講師：ベネッセコーポレーション
G I G A 研修会②	4月22日（火）	16:00-17:00		
Google研修会①	7月24日（木）	13:00-16:00	希望者	Googleの基本的な操作方法を学び、授業に活用する方法を模索する研修を行う。講師：G o o g l e キックスターンプログラム
Google研修会②	8月1日（金）	13:00-16:00		
C A N V A 研修会	7月29日（火）	9:30-11:00	希望者	C A N V A の基本的な操作方法を学び、授業に活用する方法を模索する研修を行う。講師：都留文科大学 野中 潤

■その他の研修会

防災教育研修会①	7月8日（火）	14:00-15:30	教 頭	行政と学校が連携して、防災教育の充実を図るための研修を行う。 講師：富士五湖消防本部
防災教育研修会②	8月21日（木）	14:00-15:30		
院内分校視察研修会	7月28日（月）	11:15-11:45	新採用者	院内分校と学校が連携をして、入院している児童の教育の充実を図るための研修を行う。講師：院内分校 宮下 郁恵
LGBTQ研修会	8月7日（木）	13:30-15:00	学級担任 希望者	LGBTQについての理解を深める。 講師：株式会社リベラツィオーネ トビオ

【システム関連の説明会】

まなびポケット説明会	4月4日（金）	16:00-17:00	教務主任・情報主任	システムの学校管理者としてシステムの概要や機能改善点、作業スケジュール等を確認し、管理業務に関わる操作説明を行う。 講師：吉田中 分部 勝規
------------	---------	-------------	-----------	---

<教育委員会行政委員会委員名簿>

富士吉田市学校給食運営委員会

(任期 令和6年7月1日～令和8年6月30日)

役 職	氏 名	住 所	備 考
委 員 長	堀 内 武	富士吉田市大明見	
副 委 員 長	梶 原 壮 史	富士吉田市上吉田	
委 員	川 村 喜 太 郎	富士吉田市上吉田東	
委 員	渡 邊 瑞 穂	富士吉田市上吉田	
委 員	加 々 美 竜 也	富士吉田市小明見	
委 員	篠 原 洋 哉	富士吉田市上吉田	
委 員	高 山 さ ゆ り	富士吉田市小明見	
委 員	渡 辺 久 美 子	富士吉田市富士見	
委 員	柏 木 剛	富士吉田市大明見	
委 員	川 幅 範 子	富士吉田市下吉田東	

富士吉田市社会教育委員

(任期 令和6年4月1日～令和8年3月31日)

役 職	氏 名	住 所	備 考
委 員 長	渡 辺 正 弘	富士吉田市旭	
委員長職務代理者	勝 俣 源 一	富士吉田市小明見	
委 員	近 藤 ひ ろ み	富士吉田市旭	
委 員	伊 藤 道 子	富士吉田市松山	
委 員	田 邊 綾 子	富士吉田市下吉田	
委 員	河 野 大 介	富士吉田市上吉田	
委 員	上 野 充 仁	富士吉田市大明見	
委 員	小 松 繁	富士吉田市上暮地	
委 員	渡 辺 美 富 利	富士吉田市富士見	

富士五湖文化センター・富士吉田市民会館運営委員会

(任期 令和6年4月1日～令和8年3月31日)

役 職	氏 名	住 所	備 考
委 員	刑 部 光太郎	富士吉田市上吉田	
委 員	渡 辺 正 弘	富士吉田市旭	
委 員	内 田 誠	富士吉田市旭	
委 員	渡 辺 富 江	富士吉田市上吉田	
委 員	川 上 洋一郎	富士吉田市緑ヶ丘	
委 員	伊 藤 秀 一	富士吉田市緑ヶ丘	

富士吉田市スポーツ推進審議会

(任期 令和6年4月1日～令和8年3月31日)

役 職	氏 名	住 所	備 考
委 員	渡 邊 悟	富士吉田市上吉田	
委 員	早 川 通 泰	富士吉田市下吉田	
委 員	秋 山 政 人	富士吉田市下吉田	
委 員	土 屋 恵 宣	富士吉田市下吉田	
委 員	小宮山 久 枝	富士吉田市新町	
委 員	広 瀬 小 吉	富士吉田市小明見	
委 員	堀 川 浩 之	鳴沢村	
委 員	加々美 竜 也	富士吉田市小明見	
委 員	小 野 政 秋	富士吉田市大明見	
委 員	小 松 麗 子	富士吉田市中曽根	
委 員	羽 田 隼 人	富士吉田市小明見	
委 員	堀 内 明 義	富士吉田市松山	

富士吉田市スポーツ推進委員

(任期 令和6年4月1日～令和8年3月31日)

役 職	氏 名	住 所	備 考
委 員	渡 辺 幸 恵	富士吉田市下吉田	
委 員	吉 村 美 来	富士吉田市上暮地	
委 員	雨 宮 章 子	富士吉田市新西原	
委 員	川 村 玲 子	富士吉田市新町	
委 員	渡 辺 利 恵	富士吉田市小明見	
委 員	奈 良 美 奈	富士吉田市下吉田	
委 員	佐 藤 典 男	富士吉田市向原	
委 員	小 松 麗 子	富士吉田市中曾根	
委 員	渡 辺 徹	富士吉田市新町	
委 員	舟久保 武 夫	富士吉田市新西原	
委 員	渡 邊 昌 代	富士吉田市向原	
委 員	堀 口 由 紀	富士吉田市小明見	
委 員	堀 内 美千恵	富士吉田市新屋	
委 員	吉 田 都 興	富士吉田市富士見	
委 員	遠 山 栄 治	富士吉田市竜ヶ丘	
委 員	小宮山 久 枝	富士吉田市新町	
委 員	後 藤 大	富士吉田市大明見	
委 員	土 屋 繁	富士吉田市下吉田	
委 員	羽 田 吉 則	富士吉田市向原	
委 員	宮 下 はま美	富士吉田市大明見	
委 員	渡 邊 義 廣	富士吉田市旭	
委 員	宮 下 由 里	富士吉田市大明見	
委 員	藤 井 義 房	富士吉田市上吉田東	
委 員	小 林 司	富士吉田市大明見	

富士吉田市立図書館協議会

(任期 令和6年4月1日～令和8年3月31日)

役 職	氏 名	住 所	備 考
委員長	長 田 光 雄	富士吉田市新町	
副委員長	渡 辺 三 洋	富士吉田市新倉	
委 員	渡 辺 律 子	富士吉田市下吉田	
委 員	青木 ます子	富士吉田市上吉田東	
委 員	大 沼 博 之	富士吉田市下吉田	
委 員	藤 江 幸 代	富士吉田市上吉田東	
委 員	渡 辺 美 幸	富士河口湖町小立	
委 員	井 上 信 子	富士吉田市竜ヶ丘	
委 員	芦澤 こずえ	富士吉田市向原	

富士吉田市歴史民俗博物館協議会

(任期 令和7年7月1日～令和9年6月30日)

役 職	氏 名	住 所	備 考
委 員	渡 辺 三 洋	富士吉田市新倉	
委 員	藤 田 徹	富士吉田市竜ヶ丘	
委 員	勝 俣 源 一	富士吉田市小明見	
委 員	井 上 信 子	富士吉田市新西原	
委 員	渡 邊 ひ と み	富士吉田市下吉田	
委 員	高 根 進	富士吉田市富士見	R6.12.1～ 富士吉田市歴史民俗博物館協議会条例第4条第2項に基づき、前任者の残任期間となる。
委 員	松 田 香 代 子	静岡県静岡市清水区	
委 員	金 子 淳	東京都町田市	
委 員	眞 田 吉 郎	富士吉田市新屋	

富士吉田市文化財審議会

(任期 令和6年4月1日～令和8年3月31日)

役 職	氏 名	住 所	備 考
会 長	末 木 健	中央市山之神	
副 会 長	馬 場 章	富士吉田市上吉田	
委 員	菊 池 邦 彦	神奈川県逗子市桜山	
委 員	北 川 洋	山梨市牧丘町	
委 員	渡 辺 儀 訓	富士吉田市上吉田	
委 員	外 立 ま す み	静岡県静岡市葵区	
委 員	宮 下 仁	富士吉田市向原	

富士吉田市立教育研修所運営協議会

(任期 令和7年4月1日～令和8年3月31日)

令和7年5月1日現在

役 職	氏 名	住 所	備 考
委 員 長	三 井 恵 司	富士吉田市上暮地	
副 委 員 長	伊 藤 秀 一	富士吉田市緑ヶ丘	
委 員	渡 邊 儀 訓	富士吉田市上吉田	
委 員	勝 俣 章 仁	富士吉田市上吉田	
委 員	渡 辺 富 江	富士吉田市上吉田	
委 員	渡 辺 久 美 子	富士吉田市富士見	
委 員	佐 藤 尚 武	富士吉田市新町	
委 員	渡 邊 ひ と み	富士吉田市下吉田	
委 員	加 々 美 正 孝	富士吉田市小明見	
委 員	梶 原 壮 史	富士吉田市上吉田	
委 員	井 上 信 子	富士吉田市新西原	
委 員	堀 内 ち え	富士吉田市上暮地	
委 員	渡 邊 正 人	富士吉田市新町	
委 員	加 々 美 竜 也	富士吉田市小明見	
委 員	村 松 悟	富士吉田市上吉田	
委 員	宮 下 か ほ る	富士吉田市上暮地	
委 員	加 々 美 せ つ 子	富士吉田市下吉田	
委 員	柏 木 和 人	富士吉田市下吉田	
委 員	安 保 尚	富士吉田市下吉田	
委 員	山 口 悦 子	富士吉田市下吉田	
委 員	清 水 巧	富士吉田市下吉田	

令和7年度
富士吉田市教育委員会

発行 富士吉田市教育委員会

富士吉田市教育委員会学校教育課
〒403-8601 富士吉田市下吉田 6-1-1
TEL 0555-23-1765 / FAX 0555-22-6551
e-mail: gakued@city.fujiyoshida.lg.jp
URL <http://www.city.fujiyoshida.yamanashi.jp/>
